7月號

婦人運動

第6卷第6號



職業婦人社發行

大正十三年十一月二十二日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行） 昭和三年七月七日印刷納本 同三年七月十日發行（第六卷第六號）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「世界美術の見方と味ひ方」の良參考書

野口米次郎著 日本美術讀本

石井柏亭著 西洋美術讀本

菊判約三百頁 原色版網版挿畫多數 定價各一圓五十錢 送料二十錢

東洋の美術に含まれる深奥なる精神、西洋の美術に現はれる複雜なる傳統、それの眞髓に觸れるには、一體美術を何ういふ風に觀、何ういふ風に感じ、何ういふ風に味はふべきであるか、この常識を備へてゐなければ、美術に對するほんとうの感興は生れて來ない。此に著はされた二つの讀本は、各著者が世界美術理解と鑑賞の爲めに特に意を用ゐて美術の常識の一通りを一冊のうちに書き收めたものである。故に尤も親切なる美術鑑賞入門の手引書であると謂へる。

東京麴町區下六番町
振替東京二九六三九番
平凡社

（内容一般）

○日本美術の精神（第一論）
○日本美術の精神（第二論）
○日本美術の精神（第三論）
○浮世繪の美
○屛風藝術
○花鳥畫家の世界
○舌足らずの藝術美
○藝術の單調美
○日本最大理想的藝術家
○乾山
○挿畫の解說

（内容一般）

○序說（西洋美術を觀る人々へ）
○西洋美術略史
○西洋建築の話
○西洋彫刻の話
○西洋繪畫の話
○西洋工藝の話
○西洋美術に取扱はれたる主題

忽十版

赤い戀

ア・コロンタイ女史著
松尾四郎譯

四六版三七〇頁
著者寫眞入
定價壹圓六拾錢
送料十錢

赤い戀！　それは赤露の新社會に燃えつつある性慾と戀愛とのルツボの炎だ。偏狹固陋なブルジョア的性道德抹殺の烽火だ。見よ！　顯智と純情の女主人公ワツシリツサの解放された姿容を！　彼女は戀愛、結婚、離婚の從來性を如何に克服し、コンミユニスト戀愛を如何に發展、確立したか？――彼女より力強い指示を受けぬ男女があるか？　本書こそはコンミユニスト戀愛理論の新しい敎科書だ。

ア・コロンタイ著、林房雄譯

戀愛の道

四六版美本
定價八拾錢
送料金六錢

『赤い戀』の姉妹篇、小說二篇より成る。何れもソヴイエト・ロシアにおけるプロレタリア女性の戀愛悲劇の僞らざる告白と其解決。

ジム・ドル作、廣尾猛譯

メス・メンド

全廿卷

第一卷　復讐の假面　定價卅錢　送料二錢
第二卷　記錄の秘密　定價廿五錢　送料二錢
第三卷以下續刊

作者はブハーリンだらうと云はれてゐる大衆讀物！　素敵に面白い。作中レーニンも出てくればムッソリーニも出てくる。ロックフエラーも出る。假面の美人も出る。革命の生んだ獨創的な深刻な探偵物語。これこそ本當のプロの大衆文學だ。

東京市牛込區市ケ谷田町三丁目廿一番地
世界社
振替東京七五一五八
電話牛込五八六八

婦人運動 七月號

第六巻第六號

目次

農村の諸問題……杉山元治郎（六）

時評

治安維持法の改正……

政友會と婦選……奥むめお（一二）

婦人雑誌改善問題……

五色旗から青天白日旗へ……古荘敏夫（一六）

婦人界近事……（六六）

婦人消費組合協會便り……（四二）

レニングラードの女……志垣寛（二〇）

或る婦人消費組合運動者の手記……原口健三（二五）

烙印されたる苦難（6）……フェラ・フィグネル（五六）

一本のマッチ（科學物語）……（五一）

資本主義社會とは？……丸岡重堯（三六）
國際消費組合デーを祝へ……（四〇）
（映畫物語）歩み疲れて……（六〇）皮肉な感傷詩……琴子（一四）
クローバにそゝぐ雨……神近市子（四四）
斷片三つ……田邊一子（四八）
わが身邊の記……奥むめお（一五）
パンカースト夫人の死を悼む……金子しげ子（一八）
うた……林田秋子（三四）
プロ獨語（うた）……伊藤とめ子（三五）
編輯だより……（七八）『職業婦人の家』建設に就て……（七六）
創作
振向かぬ人……葵イツ子（六二）
嫁……榎本八十子（六七）
「女」「戀愛の道」を讀む……並木琴子（五四）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

新刊無產社パンフレット

◇社會主義大意
改版　堺利彦著……價十錢

◇社會主義は毒藥か砂糖か。貧富の始まりから勞働者の天下までかんでふくめるように、此の一番の中に說き盡してある。誰の爲に危險なのか、資本制度の時代、資本家と勞働者、都會と農村、地主と小作人、資本制度が壞れる、帝國主義、世界戰爭其他。

◇なぜなの
無產者童話　ミウレン著荒畑寒村譯……價五十錢

◇プロレタリヤの少年には、プロレタリヤの生血の滲み出た、現實の、躍動する、生命のこもつた童話を與へねばならぬ。本書は實にその童話だ。美しい挿圖、優しい、雄々しい文學は少年の心をとらへずにはおかない。

◇ジエルミナル
ゾラ原著　堺利彦譯……價七十錢

◇虐げられた群が頭をもちあげ、人間生活の矛盾と不合理をあばき立て、新社會建設に志して來た。木の芽立ちのように、全世界の彼方、此方に！　本書は坑夫の生活を中心に雄大、深刻、悲壯、痛烈を極めてこの間の消息を描き出したもの。

◇新ロシアの婦人
近藤榮藏著……價十錢

◇社會主義の國『新ロシヤ』に於ける婦人の生活、社會的地位、戀愛關係、結婚生活、勞働生活等の各方面にわたつて赤裸々に、しかも名文をもつて描かれたもの。婦人國有說の眞相、社會主義國の婦人の狀況を知る上に重要なものである。

◇婦人問題の本質
堺利彦著……價十錢

◇婦人の過去、現在、未來に亘つてマルクス主義の立場より平易、明解に說き明したもので、特に我が國古代の婦人の地位境遇より近代の婦人を論究してある等他類書の追隨を許さない。婦人問題文獻の僅少な今日各階級の人々に一讀を薦める。

◇ロザの手紙
堺眞柄編……價十錢

◇ロザ・ルクセンブルグはドイツ共產黨を創立した有名な婦人で、一九一九年一月十五日軍閥の暴徒の爲めに虐殺されたのである。本書は革命家として、學者として偉大な此の人が、一面に於て如何にやさしい性情を有したかを知る最もよいものである。

◇社會主義學說大要
堺利彦著……價三十錢

◇マルクス學說を簡單に理解する爲に最も便利な手引書である。無產階級の獨立の學問、唯物史觀の解說、歷史進化の事實的說明の三章に別れ、唯物論と唯心論、唯物史觀と唯心史觀、唯物史觀の要領等最も平易親切に說述されたものである。

□圖書目錄無代進呈、（但し二錢切手封入のこと）

月刊『赤い星』は一部三錢年三十錢

發行所　東京麴町八ノ二〇　振替東京二四六二六　無產社

婦人運動

七月號



Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



農村の諸問題

杉山元治郎

今日農村問題は重要な社會問題の一つとして社會の大問題になつて來たのでありますが、一口に農村問題といつても區別してみればいろいろの方面に亘つて、澤山にあらうと思ひます。

農村の衞生問題

中で、特にみなさんの注意を喚起したいのは、農村の衞生問題であります。農村は一概に知識程度も低く、衞生思想もとぼしいために、特に、婦人、子供の生活の上にテキ面の結果を現してゐるのであります。

今日農村兒童（わけて乳兒）の死亡率は、一番高く、婦人も、過勞と、營養不良と、不衞生とでみすみす尊い生命を自ら損ねてゐます。

小作問題

次は小作問題でありますが、一口に小作問題と云つても、その原因はいろいろの處から來てゐます。一、自然的原因、これがかなり多く、殊にわが邦では、小作人はこの自然的原因から不作や凶作の結果、小作爭議となるのが六割に及んでゐると云はれてゐるのであります。二、心理的原因、即ち小作人と地主とが、お互に反感をもち合つて問題をますます複雜にしてしまふことであります。三、經濟的原因、このまゝでは小作人の生活が立つてゆかぬために、

經濟事情から來る原因。四、思想的原因、思想上に地主の專横を許さなくなつて來た今日の時代の風潮が、又可なり有力に小作問題を起してゐると云はねばなりません。

一、小作料輕減問題

小作問題の經濟的方面卽ち、小作料の輕減問題は現在の小作料が、當か不當かの考察から初まるのでありますが、現在の小作料は大體、收穫の五、五割が地主、そして四、五割が小作人といふ比率になつてゐます。

これに對して小作料の合理化が要求されるやうになつてゐるのでありますが、ではこの四、五割（小作人）と五、五割（地主）の比率は正しいか否か。まづこれを考へなくてはならぬ。學問上の原則からみると、凡そ、地代は次のやうにして算定すべきものであります。収穫物——生産費——企業利潤（報酬）＝地代

ところがわが邦では、それどころか收穫物から、生產費を差引いただけで、もうあとには企業利潤どころか、天候や害虫その他についてその時その時に心配をした心配料なども殆んど捻出できない狀態であります。

そこで小作問題が喧しくなつてから、地主と小作人の分け前を算定し直す必要があるといふのでさき頃兵庫縣で小作人の代表者、地主の代表者、農會等に問合せを出して、その結果から次のやうな協定を作りました。卽ち、一反步に對する——地主の出資率と——小作人の出資率と——を查定して、——收益を按分比例できめるといふのであります。

では、地主の出資率は幾ら位になつてゐませうか。

それは、一、地租諸掛りと、二、土地資本利子と二つから見なければならないのであるが、地租諸掛りは大體一反步について十圓見當。と云はれてゐます。ところが土地資本利子の方は、市場價値と正常價値とは、必ずしも一致しないものですから算定は中々六かしい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一體、今日の土地の値段といふものは、どういふ風にして割出されてきめられてゐるかといふのに、

1 社會的價値　（土地を持つてゐるといふ事のためにひとりでに來る社會的名譽）

2 心理的價値　（自分は土地をもつてゐるといふ誇り）

3 豫想的價値　（土地の價値は、だん／＼高くなつてゐる。從つて、何年後には凡そ幾らになるといふ豫想がもたらす價値）

小作爭議がはげしくなつてから、大正十一年頃から土地の豫想的價値は大分弱くなつて、早く手離してしまいたいとあせる地主さへ頻出してゐる狀態であるが、それ以前までは、明治の初年頃からずつと、土地の價値は、凡そ十年毎に倍額にせり上つてゐた。

農地は、十一年以來下り氣味である。

4 農地としての耕作的價値　（瘠地もあり、水利のよい處惡い所もあり、等々、耕す土地としての價値をいふ）

百姓の立場から云へば、（4）の耕作的價値だけが、ほんとうの土地の値段となるものである。ところが、地主はそれにお關ひなしに、（1）（2）（3）の價値をもみんなくるめて土地の値段としてゐるから、小作人は愈々割の惡い立場におかれるのであります。

そこで地主の土地出資率はどれ位になるかを調べてみるのに、勸業銀行の土地査定では、農地一反が凡そ五百圓としてゐますから、地主の出資率は、一反につき、

地租諸掛　十圓　土地資本利子　三十圓　計　四十圓

そして小作人の出資率は、

種子代、肥料代、農具損料、勞働賃銀、固定資本利子　總計七十圓から百二十圓位になつてゐる。

即ち、地主の出資率は小作人の三分の一にしかあたりません。かりに、小作人が四〇圓しか出資してゐないとして

も、地主は、收穫の三割强、小作が六割强の比率で分けるのが正當であると云はねばなりません。これに依つてみても從來の小作料は、尠く共三割方以上不當に高かつたといふ事は容易に考へられるでありませう。小作人が、各地で小作料の三割値下げを要求してゐるのは、實にこの算定から割出してゐるのであります。

二、地主の對策

小作人が團結して對抗運動を起すやうになつてから、地主側でもいろいろ惡辣な對策を講じ初めました。

地主の對策は、立入禁止と立毛差押とであります。

小作人は、小作料の輕減を地主に要求するとき、不納同盟を行ひます。初めは、三割だけまけさせやうと思ふときは、收穫の三割だけを家に殘しておいて、そのあとの分は地主に納めて要求をもち出したのであります。然し、三割分だけ家に殘して——即ちあとの七割は地主に納めてしまつても、全然地主に納めないで要求條項をもち出してもその結果は、同じ手數と煩ひがかゝるものだといふことを小作人は知りました。ところが、地主側になると、小作人が七割分だけ納めて具れたときと、全部納めてくれないときとでは、裁判にかける時は、印紙代、辯護士代その他が非常に違つて來るから、不納額が多い程地主は餘計に傷手をかうむらねばならないわけであります。

イ、立毛差押へ

小作人の不納同盟に對して地主は、立毛差押へをやります。これは、稻になつてから、苅り入れが迫つた頃に、差押へをして苅りとらせないことでありますが、この場合、稻は、未だ青々としてゐる內は財產とみなされないので、差押へるわけにゆきません。成熟の一週間前あたりから、(財產とみなされて)差押へをされるのであります。

ロ、立入禁止

これは假處分をすることであつて、一旦、田に立入禁止の札が立てられると、小作人は、もうその田に足をふみ入れる事が出來ないのです。

そこで耕作權の問題が出て來るのでありますが、一體わが邦の今日の民法では、所有權が絕對の權力をもつてゐるので小作人が地主に對抗するのには、どうしても耕作權を確立する必要があります。

やがて制定されやうとしてゐる不完全な小作法にさへ、耕作權の問題は出てゐるのでありますが、とにかく、所有者の權利を狹めて、田を作るものの權利を大いに認める必要があると云はねばなりません。

都向離村の問題

農村の人々が都會へ々々へと出てくる傾向は必ずしも日本だけの現象ではなくて世界的の問題である。それについては、いろいろ說をなすものがあるが、マルクスはこの傾向を、大資本が小資本を併呑してますます太つて獨占してゆくから、大農に押された中小農が結局何處かに道を見出さねばならなくなつて都會に溢れるのだといひます。

然し、今日の都會ではたしかにさうであるが、農村では多少さういふ傾向があるとしても、一概にさうであるとは斷定しがたいと思ひます。

元來一人の力で大仕掛けにやるとしても、私經濟からみるときは同一面積からうける收穫は、その割合に殖えないものであります。それに、日本は傾斜地が非常に多いので、地勢的にみても大農式にはゆきがたいと思ひます。

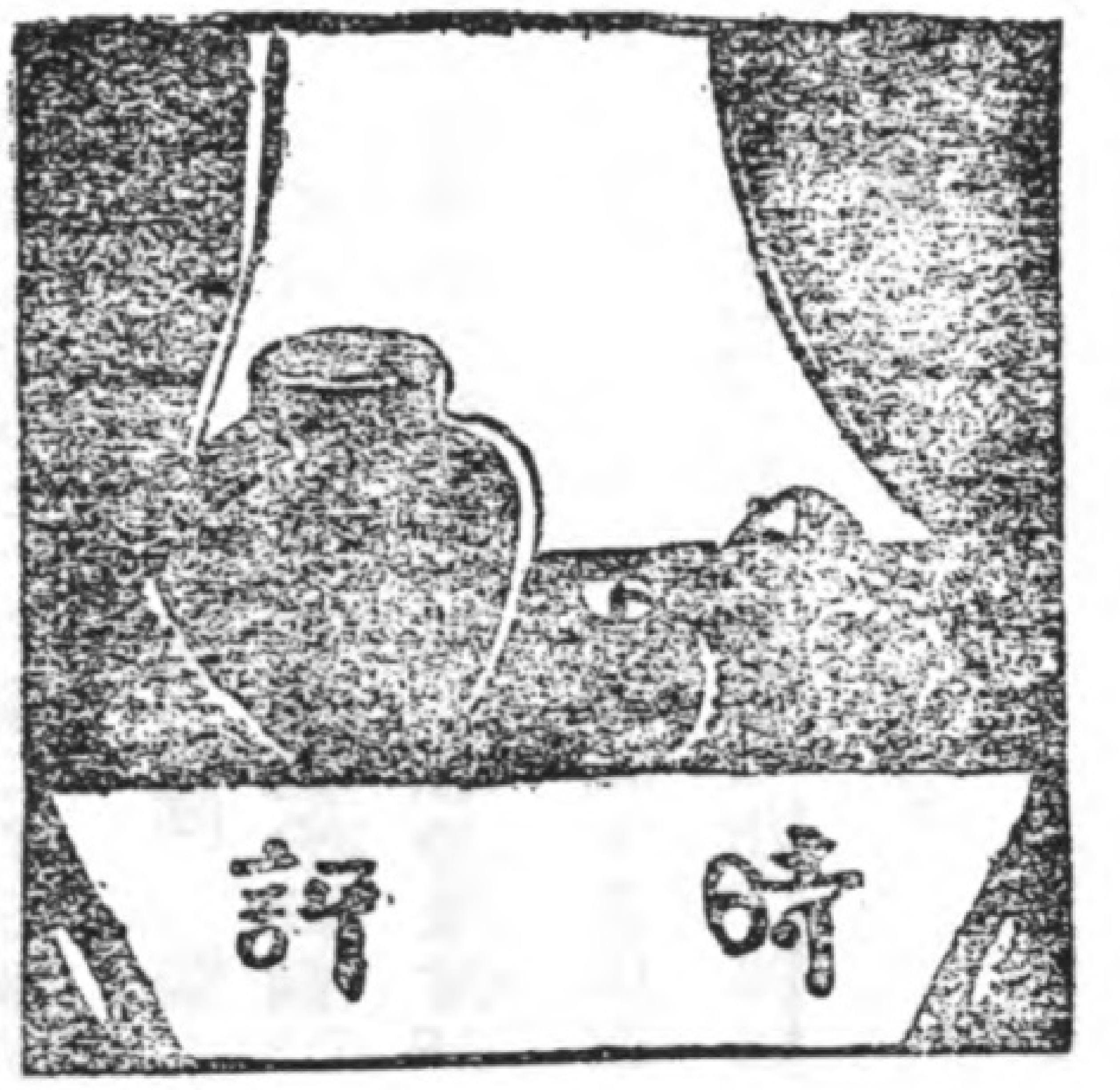
ドイツのベルンスタインは、農業は大農經營よりも、中農經營の方がいゝと云つてゐるし、スエーデンの有名な二人の農業經營學者もいろいろ調査硏究の結果、「大體に於て中農經營の方がいゝやうである」と云つてゐます。ロシアでも、國有經營の大農式が、新經濟政策で中小農經營に移らうとしてゐるやうであります。

勿論、日本の多くの百姓のやうに所謂五反百姓の非常に小規模なやり方は、何とか改めて、もう少し共同して、相當の機械の助けもかりて大仕掛けにやる方が能率も上り、又便利も多い筈です。その結果過剩になつた力を、何か新しい仕事に集約して生かす方法を講じなければならないのでありますが、このための新しい仕事として、工業の農村分散化を計畫するのが最もよからうと思ひます。

今日のやうに、交通の便も非常に開けた時代には、成べく工業を農村において、農耕のひまひまに副業的に働かせて過剩な人力をこゝに生かすか、或ひは半分を、專門に農耕に使つてあとの半分を、專門にこの方に向けて働かせるかその何れがいゝかといふことは、問題でありますが、どちらにしろ、さうして農民に收入の道を與へることは非常に必要だと思ひます。

それについては、農村にもつと、敎育機關と娯樂機關を完備させて、農村にゐても自由に勉强も出來、相當に娯樂の道もあるといふ樣にする事が何より肝心でありませう。

なほ、農村の消費組合問題、政黨問題、その他重要な問題が外にいろいろあらうと思ふのでありますが、又、機會を改めて述べさせて頂きます。（婦人と經濟講座の講演筆記です。文責は記者にあります）



治安維持法の改正

治安維持法は大正十四年加藤憲政内閣の時に制定されたもので、その當時に於ても盛に世の中から反對を受けたものである。田中内閣は、その刑罰を一層重くした改正案を(?)先の臨時議會に出さうとして、あの野黨切崩しのごた〳〵騷ぎで果さなかつたので、今度緊急勅令で發布することにしたものである、で、改正案として傳へられる要點は現行の治案維持法第六條に、

國體を變革し又は私有財産制度を否認することを目的として結社を組織し又は情を知りて之に加入したる者は、十年以下の懲役又は禁錮に處す

とあるのを

國體を變革することを目的として結社を組織したる者、又は結社の役員、その他指導者たる任務に從事したる者は死刑又は無期若くば五年以上の懲役若くは禁錮に處し、情を知りて結社に加入したる者又は結社の目的のためにする行爲をなしたる者は二年以上の有期懲役又は禁錮に處す

と改め、私有財産制度を否認することを目的とする結社運動に關しては大體現法に依る事になるやうである。

この改正案に對して、野黨、貴族院樞密院の内部に於て、反對の氣勢を上げてゐるのは、大體に於て治安維持法の改正は認めるが、既に特別議會に提出して審議未了と云ふよりも、ことさらその審議を回避したものを、五十日も經過した今日わざ〳〵緊急勅令で發布しやうとするのは、憲法第八條の『帝國議會閉會の場合』と云ふ條文に反するものであり、又議會を無視するものであると云ふ點からである。

これは常識で考へても解りきつたことであるが、この解り切つた事まであへてして、政府が横車を押して行くのは何故か、又その横車が樞府をさへ結局通りさうな理由は何か。これこそ考へて見なければならない問題である。

或る法律家の云ふところに依れば、我國の刑法には、既に内亂罪の條項があつて、『内亂の豫備、陰謀』の場合には十年以下の禁錮に處せられる事になづてゐるが、内亂罪といへば武力で國體を變革せんとするもので、勿論一人でそんな事をやる筈もないからこれも結社的行爲である。ところが治安法の目標は主として言論、文章の宣傳に依つて、國體の變革を計る者を罰するのであるから、つまり同じ事を兵力で行けば十年以下、言論の場合にはまかり間違ふと死罪、隨分ベラ棒な話だと云はなければならない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

以上簡單に述べた處でもよく解るやうに、田中内閣が、今度急に治安維持法改正を勅令によつて制定しやうとするのは、その實先頃の共産黨事件に名を借りて、新しく擡頭した國民の九割を占める全無産階級の政治的進出、その解放運動に一大威嚇を與へて、是を彈壓し自分達の行詰つた政治的立場を有利に轉回しやうとするものである事は一目瞭然たる事である。

一體思想の惡化すると云ふ事にはそれ相應の原因があるので、此頃每日新聞紙を賑はしてゐる一家心中、自殺その他種々な犯罪の驚くべき增加も、生活の不安と云ふ根本問題が横はつてゐるからである。かういふ事實の根本を解決しやうとしないで、いくら法令を嚴重にしても、それは益々思想を所謂惡化させるだけで有害無益である。

全無産階級が聲を一にして、この惡法の改惡に反對するのは、思想が惡化してゐるとか、非合法的な結社運動を支持すると云ふ理由では決してなく、眞に民衆自身の生活に根ざした正しい政治の正道を行く爲には、こうした不合理な反動政策に反對するのが當然であるからである。

政友會と婦選

新聞紙の傳ふる所によると、政友會の內部では、特別議會以來の不人氣をとりもどすために、社會政策的立法の第一着手として、婦人參政權案を次の議會に提出させやうとする運動が興つてゐるやうである。

之は先頃英國の保守黨內閣が、保守黨でありながら婦人の參政權を擴張して自由黨勞働黨をして追從を餘儀なくせしめ、多數の婦人の投票を勝ち得やうとしたのに倣つたものだと云はれてゐる。

何れにしても婦選の實現が次第に近づいた事は悅ぶべき現象と云はなければならないが、同時に婦人としては、過去十年來、政黨としては一點の考慮否、不まじめな嘲笑以外に何者をも示したことのない政友會（民政黨も同じ事であるが、急に婦選を重要視初めた事に就ては深く考へなければならない重大な問題が横はつてゐると思ふ。

婦人參政權が、も早議論の時代を過ぎて、實施の時代に足を踐み入れてゐると云ふ事は、最も反動的な頑冥そのものゝやうな現內閣を支持する政友會內部からさへその提案が出やうとしてゐる事から見ても明かな事であるが、この世界的な大勢として既にその實施が目睫の間に迫つてゐる婦選が、單にそれを提案してくれたと云ふだけの理由でその理害を異にし、凡ゆる欺瞞に充ちてゐる既成政黨の勢力擴張に利用されるやうな事があつたならば、たゞに婦人大衆のためばかりでなく、國民の九割を占める全無産階級の爲めに一大不幸と云はなければならない。

遠い例を擧げる迄もなく、先頃の普選第一次の總選擧の情勢を見ても、又特別議會に於ける醜態を見ても、政府黨と云はず野黨と云はず、既成政黨と

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

云ふものはどんなものであるか、その正體はよく民衆の前に暴露された筈である。又われ〳〵は、今度こそははつきりと彼等の正體をよくよく見た筈である。

云ふ迄もない事であるが、既成政黨は一部の特權階級の利益を代表してゐるもので、さういふ特權階級から經濟的に援助せられて成立つてゐるものであるから、多數の無産大衆とは根本的にその利害を異にするものである事は當然の事である。

婦人參政權問題は、人類進化の過程として必然的に興つて來たのであつて政友會がそれを與へるのでもなく、民政黨がそれを與へてくれるのでも斷じてない。社會の必然的な原則として婦人が當然に參政權をかち得るのであつて、この當然の權利を、今まで黨として婦人に對して何等の誠意を示さなかつた既成々黨が、政策的に黨勢擴張のために用ひる一時の甘言に利用されてはならない。

従つて現在に於ては婦人としては、政治的權利を今年獲得するか來年獲得するかと云ふ問題よりも、この當然の權利であり義務であるものをどんなに用ゆれば、自分達多數の婦人や子供の幸福になるやうな政治にする事が出來るかと云ふ問題の方が遙かに重大であつて、それには現在の政治現在の社會がどんな風にして、成立つてゐるかと云ふ事を、それぞれ日常の生活を通して明瞭に見きはめておくことが最もさし迫つた必要事である。

婦人雜誌改善運動

世間で盛んに婦人の讀物とされてゐる流行の婦人雜誌の惡風潮に就いて、近頃あちこちで批難の聲が高くなつてその爲めに二三の團體で會合が催され婦人問題研究所その他では、その改善の爲に具體的な方法が企てられてゐるとの事である。

所謂婦人雜誌が、競つていかゞはしい廣告や俗惡な記事を滿載して、婦人及青年の好奇心を巧に捕へる事を、その營業政策にしてゐるのは何も今に初まつた事ではないが、兎角、おそまきながらも、婦人自身が團體として、その侮辱と惡弊に抗議を申込む機會を見出した事は悦はしい事である、が實行方法として、單に雜誌經營者に警告を發する位の事では、その効果はどんなものであらう。

云ふまでもなく、所謂流行の婦人雜誌は婦人を教育し、善導する機關として發行されてゐるものではない。その目的とする處はたゞ〳〵營利である。從つてその營業が大きくなればなる程他の同種雜誌と競爭の結果その他の原因で、この營利主義の色彩が一層濃厚になるのはあたりまえの事で、こうした根本問題に觸れないで、單に警告を發すると云ふ位のことだけでは効果を危ぶまずには居られない。

それは例へて見れば、丁度大きなデパートメントストアーへ行つて貴方の店で賣つてる高價な寶石や、貴金屬其

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

他高價な着物は婦人の虚榮心を徴發するから販賣を止めてくれ、と云つて見た處で、それは一寸實行されやうとは信じ難いのと同じである。

不買同盟を起すと云ふ事は、警告を發する事に並べれば多少積極的な事のやうに思へるが、その難事業を徹底させるだけの根强よさを持つ爲めには餘程の覺悟がなければならぬ。何故ならば、營利本位の仕事と云ふものは、現在の資本主義制度の本道であつて、それに對する根本的批判が必要であるからである。

さうした意味で婦人雜誌改善運動はその運動が資本主義の批判に迄さかのほつて行はれない限り、その實際的効果には——一時的に多少婦人雜誌の目先を變へる位の事は出來るかも知れないが——大きな期待を持つ事は出來ない。然し、とにかくそうした叫聲が現社會に對する婦人の批判力を一歩でも根本的に導いて行く動因となつたならばその使命はより重大な効果を上げたと云ふべきであらう。

政友會の婦選と婦人同盟聲明

全國婦人同盟は政友會の婦選に關する態度に對して六月廿三日左の聲明を發した。

世界いづれの國に於いても資本家政府の下に施行せらるゝ社會政策は常に多くの僞瞞を含んでゐる事は明らかである、今や反動的政黨たる政友會は自らのあらゆる反動性を覆はん爲に婦選實施を公約せんとしつゝある、惟ふに政友會內閣の反動性は這般の府縣會議員選擧並に總選擧を通じて遺憾なく發揮され殊に最近對支出兵並に治安維持法改正に關する緊急勅令發布の暴擧によつて剩すところなく暴露されつゝある、われ等無產階級の婦人はその完き解放への一手段として婦選實施の一日も早からんことを希ふ事勿論なるもかゝる資本家政黨の僞瞞に迷はされるものではない、卽ち政友會のいふ所の婦選は彼等の重なる不人氣挽回の具に供せられるものなること既に明白でありあはよくば同案によつてわれ等婦人大衆を彼等反動政治の一支柱たらしむべき恐るべき意圖を有するものである、われ等は有產階級支配の續く限り、われ等の解放は絕對に齎らされざるものなる事を知ると同時に彼等の僞瞞的意圖を大衆に暴露して以て婦選をわれ等のものとして獲得すべきことを誓ふ。

◇全國廢娼同志大會　今秋の御大典を機として廢娼促進に猛進しやうとしてゐる廢娼聯盟主催は去る十二、三の兩日神宮外苑日本靑館に於て開かれた。集つた同志五百人

一、忠良なる臣民を醜業奴隷の境遇に泣かしむる公娼制度は御大典を記念に廢止し我國人道史上に新紀元を創ること

二、貸座敷業者が自ら反省して廢業すべく勸告すること

の二決議を全會一致で可決し、具體的運動としては各府縣別に公娼制度廢止を說得する方針を立て、陳情書百万枚を本部から各支部に送り近く全國的猛運動を起すことになつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五色旗から青天白日旗へ

古莊敏夫

北軍敗退し北京城頭 青天白日旗飜へる

張作霖を御大とする北軍が、蔣介石を總師とする南軍の爲めに、京漢線附近の大會戰に於て脆くも破らるゝや、あとは一瀉千里、長い間支那の首都となつてゐた北京の城頭には、先月の初めから遂に南軍の旗印青天白日旗が飜へることゝなつた。そして北軍の五色旗は關外へその影をひそめて了つた。これで兎も角南軍の北伐計畫は完成した。南軍が此の計畫を樹て本據の廣東を出發したのが民國十五年の六月であるから、丁度滿二年の今日當初の目的は達せられた譯である。南軍の廣東出發前の目算では北伐を三期に分ち、第一期は吳佩

―支那時局の解說とも謂ふべき北伐軍の起りから完成までの略記と、併せて今後の豫想―

寵愛措かぬ第五夫人の夢枕に、ある夜ありありと黃帝の姿が現れ、張作霖を洪憲皇帝となし、以て國を安ぜしめん、とノタマツタと云ふので思ひ上つた張作霖、明清兩朝の御苑をわがものとして七十五度三分八厘に反り返つてをさまつてゐたが、北伐軍の勢ひ破竹の如くその城下に矛を橫へて肉迫さるゝや、豪華一年の夢を思ひ出に忽ち都落ちの憂きめを見るこゝなつたのみか、その途上思ひもかけぬ爆彈のお見舞ひを受け、あはれ五十五歲を名殘りに此世をオサラバせざるを得なくなつた。かくて北伐軍第三期の事業は思ひ通り完成したのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

手を討伐して武漢を略し、第二期は孫傳芳を倒して、長江下流を取り、第三期は張作霖を滅して北伐を完成する筈であつて、一期を一年とし三年計畫であつたが、實際は僅々二ヶ年にして完成した。即ち北伐軍が出發して數ヶ月にして武漢陷り、十六年の春には早くも孫傳芳を倒して長江の下流をも略したが、其後北伐軍內部に種々の內紛があつた爲めに、第三期の北伐はやゝ遲れたものゝ、今日迄に終局の目的を完了し得るに至つたのである。

然らば南軍は何故に勝ち、北軍は何故に敗れたか、その原因について先づ考察して見よう。それは軈て南軍の北伐趣旨國民革命の標識をも分明せしめることゝなるから。

何故北軍は敗退したか、と云ふに、それは兵力の相違のせいでもなければ、武器の劣れる故でもない。實をいへばその第一方面軍(孫傳芳)第二方面軍(張宗昌)第三方面軍(張學良)第四方面軍(楊宇霆)第五方面軍(張作相)第六方面軍(吳俊陞)第七方面軍(褚玉璞)から成る北軍の兵力は、その兵數に於て武器に於て、決して南軍に比し優るとも劣るものではなかつた。張作霖の豪語を以て信ずるならば、北軍兵數は四十二万南軍兵數は蔣、馮、閻の聯合軍合して二十五万、北軍は南軍に對し二倍に近い優勢であつたのである。然るにそれが何故にかくも脆く敗れたか、そこには餘程大きな原因がなければならぬ。卽ちその主因として觀られるのは、一、山西軍を敵に廻したこと。一、張宗昌が作戰を誤つたこと、一、孫褚等所謂奉天軍の客軍が戰意を缺いてゐたこと、一、南軍便衣隊が活躍したこと等であるが、これ以外最大の原因をなしたものに北方軍閥に對する國民の不人氣と、國民革命に對する國民の熱望とがあるものと斷ぜられる。而して南軍の勝因は此の反對の立場にありしことはいふ迄もない。然らば北軍の不人氣なわけ、國民革命の要望されるわけはどうかと云ふに、勢ひそれは北伐軍の起つた理由に觸れなければならぬ。

國民の血を湧かせた
國民革命の標語

それでは南軍が何の爲に北軍討伐を始めたか、それは國民革命の標語は軍閥打破、帝國主義打倒にある。この二つの標語は擇るべからざるもので、明治維新が尊王攘夷を標傍した

やうに、打倒帝國主義によつて國民の血を湧かし、これを國内の革命に轉用したものである。これに依つて國民を一致せしめ一定の方向に導いて置いて、その帝國主義の走狗となつて支那を害毒する者は軍閥である。

先づ此の軍閥打破を圖らねばならぬと斯ういふ論法で、北伐軍を起し、呉佩孚、孫傳芳、張作霖の軍閥討伐を行つた。國民はすつかり此宣傳に乘せられて上氣して了つた譯である然し此の二つの標語も決して國民黨の發明ではない。國民の間に多年蓄醸され、種々の形で實現してゐた裁督裁兵、軍民分治、外貨排斥、關稅自立、反宗教聯盟、反帝國主義等の運動を統一し、これに明確な目標を與へ實力ある實際的な運動としたまゝであるが、兎に角これに依つて軍閥は不人氣に陷り、北伐は案外容易にその目的を達するに至つた次第である

こんな譯で北伐は先づ完成した。だが北伐の成功は直ちに以て國民革命の成功だとは言へない。何故なれば、その標語にもある通り、軍閥打破、帝國主義打倒の目的は未だ達せられてゐないからである。成る程北方の軍伐は正に打破されたけれどもそれは五色旗が青天白日旗に變り、呉佩孚、孫傳芳張作霖等の軍伐が蔣介石、馮玉祥、閻錫山等の軍伐に代つたゞけで、實質的には大した相違とはならぬ。又帝國主義打倒の目的も未だ何等達成されてはゐない。卽ち國民革命の事業は寧ろ今後にあるのである。

支那は今後どうなつてゆくか

然らば國民革命の前途はどうなるか。支那は今後どうなるか。との問題に逢着する。孫文の指導的革命過程のプログラムによれば、革命は先づ第一期の軍政時代を經て、次いで訓政時代に移ることゝなつてゐる。北伐がやつと目鼻がついたばかりで軍政時代の終りと見るは當らぬが、此北伐の一段落が政治的新生面への序幕であり、段階であるとは言へぬことはない。既に南京政府は此の七月十五日から南京に於ても國民黨全體會議を開催し、今後の政治組織、外交方針、財政計畫に關する內外政策の樹直しを圖り、南北和平統一の基礎を固める段取りださうである。

併し這次の北伐完成に偉功のあつた上記の蔣、馮、閻の三巨頭は夫れ〲異つた立場にあるもので、等しく青天白日旗

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の下に集り、一口に南軍と稱され、國民革命軍と云はれるものゝ、もと／＼三勢力の寄合世帶である。北方の軍閥に對して共同戰線を張つてゐた間は兎も角、政權を前に軍隊を背景とする各自の利害が相反する時が來れば、果して今日の如き協調が保持して行けるかどうか。その三人男の一人馮玉祥はクリスチヤン、ゼネラルとして內外に名を馳せ、これで表面は裝つてゐるものゝ、內心は一筋ならぬ野望をもつ老猾な男直隷派の一武將時代から、洞ヶ峠と寢返りと、クーデターで頭角を現した腹の黑さだ。そして又一人の閻錫山は、お人よしながら煮切らぬ男、民國初期以來山西督軍として事なかれ主義の十幾年を送つて來たが、今度そのモンロー主義の衣をかなぐり捨てゝ靑天白日旗の下に第三集團軍の長となつたものゝもと／＼これは彼の本意ではない。愈よモンロー主義を守つてゐては元も子もフイになると見て猫を嚙む窮鼠となつたまで。こんな連中だ。今までこそ共同の利害の爲めに一致してゐたもゝ、內心如何なるカラクリを秘めてゐるか知れたものでない。卽ち彼等內部の統制を期待するにはその關係はあまりに復雜である。民國十三年、孫文の在世當時、孫文、張作霖、馮玉祥の三派聯立による南北統一が出來た事があつたが、忽ちにして崩壞された前例に見るも、此三角關係の前途は決して樂觀を許されない。かりにある程度のたしかさをもつて、平和統一の機運が釀されるとしても、南北支那の實情を正視する者は、その容易ならざることが、推知される、少くとも對外信賴を博するまでにはその前途甚だ遼遠なることが思はれるのである。

だが若し蔣、馮、閻三者間に於て、此點を十分に考慮し、北京政權の樹立についても、地盤問題についても、或る程度の確實なる諒解が成り、三者の互讓によつて進むことが出來るならば、前記の悲觀的觀測とは反對に案外に順調なるコースをたどることゝなるかも知れぬ。かくて國民會議の開催となり、政治が軌道の上に置かるゝやうなことになれば和平統一も滿更ら物にならぬとはいへない。

要するに支那の前途も國民革命運動の前途も三巨頭聯盟の强固こ否とにかゝつて存する。光明もそこに發し危機もそこにはらむ。

レニングラードの女

志垣寛

一、Y嬢

その女は自分で二十二だと云つてゐた。別に美人と云ふほどでもなかつたが、大學を出たと云ふので、いくらか話が面白く、日本語が少し話せると云ふので、時折私は逢つてゐたどこか見物に行く折など、よく案内役につれて行つたものだ

「私日本に行きたいわ」

「行つたらいゝだらう」

「あなたつれて行つて下さる」

「喜んで！」

この「喜んで！」と云ふ言葉は、その女の口眞似なのだ。彼女は何か頼むといつもさういつたものだ。

「ほんとうよ。」

「勿論！」

この勿論と云ふ言葉もさうなのだ。まだよく日本語を使へぬ外國人たちが、さうした簡單な言葉で氣持を表現する事は誰もが知つてゐるところだ。

冗談ともつかず、さうした話を幾度かしたものだが、その都度彼女——彼女の名をかりにY嬢としておかう。Y嬢はすぐ具體的な話に話をすゝめて行つて、旅費がいくらかゝるかとか、行つた後でどんな仕事があるかと云ふ事になるのであつた、さうなつて來ると私には餘り自信がなく、勢たじ〳〵

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

にならざるを得ない。

「矢張りあなたも駄目」

さういつてY孃はほんとうに失望するのであつた。

Y孃はレニングラードの生れであつた。父は少しわけがあつて牢にはいり、母親が子供相手にやつてゐるので、家が苦しいからY孃がガイドみだいな仕事をして、家計をたすける事になつてゐたらしい。でもロシャでは思ふ樣働けない。と云ふのは彼女の父はもと大學の教授で白系に屬してゐたために彼女にはいゝ仕事が惠まれないらしかつた。で日本にでもいつたらいゝ仕事があり、一家を支持するに都合がいゝだらうと云ふ健氣な考であつた。

「樺太ならいゝ口があるんですけど。」

「樺太！そりやいかんな」

「なぜ？」

『だつて樺太じや。』

「樺太は何故いかないの？」

Y孃はぐいぐいと道理で問ひつめて來るのであつた。さうなるとやはり私はたじ〳〵でどうつて事もなく話を有耶無耶にするのであつた。

「日本の男つて、大抵駄目なのね。」

「そんな事はないさ」

「ちつとも張合がないわ」

「親切のやうですけど、ほんとうはたよりにならないのね」

うつかり頼りにされても困るし、つまらぬ事で義理だてする氣にもなれないが、さうまともに言はれると少し癪だつた。で結局私はよく議論をした。

彼女の云ふところ——僞らぬ告白によると、日本人で彼女と親しくなつた人は、大抵のものが「日本につれて行く」と言ふさうだ。そしてだん〳〵その話が具體的になつて來ると、みんな逃げて了ふさうだ。その理由——ほんとうな理由がどこにあるかについて、彼女は——流石にモーダンな彼女と雖も向いふ事を遠慮した。

と云ふのは、彼女がたつた一つだけ、男たちの言ふ事をきかないからだ。と言ふ事が私にはよく分つた。その言ふ事をきゝさいすれば、誰もがも少し彼女に親切であつたであらうが、彼女はたとへ同じ宿に二人して泊つても、同じ寢臺車に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゐても、決してどうともならないものであつたさうだ。

「妻は夫の私有財產である」と云ふ觀念を勇敢に破壞してゐるロシア共產黨の多くの女たちが、その性生活の上に於て隨分自由な事をやつてゐるだらうとは想像にも難くない事だし實際また彼地に遊んだ誰もが、

「私はあなたの私有物ではありませんよ」

と云つたやうな婦人たちの氣持を、すぐに感取する事が出來るのである。で、多くの外國人殊に——通りすぎの旅客などが、いゝ加減ロシアの女たちを甘いものにみて、からかつて見るだらうが、然し一人のY孃の存在が勇敢に物語るやうに、さうさう甘いものでもない事が分るであらう。

二　淸水浪子孃

ある日、私は對外文化聯絡局主催の日本文學の夕に招かれて行つた。それはロシアでは恐らく初めての催しであつたらう。同局の局長格たるカメネフ夫人が座長で、先般自殺した日本にとつてはお馴染のヨッフエや、片山潜氏などの顔も見えた。この日ヨッフエは日本滯在中に彼自身が受けた好意を語り、且つ日本に於けるロシア文學研究熱の盛なる事などを語り、わが片山老は英語演說を試みて日本の美術や文學の事をといたりした。

さてその夕のプログラムの中に萬葉の朗讀をやる日本女の名が出てゐた。何しろその頃モスクワにゐる日本婦人としては大使館關係の一二より外に殆んど誰もゐなかつたし、一體その晩に萬葉などやるのは何人であらうかと多くの期待をもつて出かけた。ところでプロが進行してその日本女の順番が來ると人々はかたづを呑んで演壇を凝視した。その折壇上に表はれた人は驚くべし、年の頃二十二三背たけのスラリとしたロシア美人であつた。そのロシア美人が爽かな日本語を、しかも吾等にすら難りにくい萬葉をすらすらと朗讀するのであつた。それは吾等にとつて非常なる驚異であつた。

これより先私はレニングラードに遊び、その地の博物館に館員をつとむる一二の婦人に出あつた。それは何れも妙齡の女で日本語の話せる人々であつた。彼女たちは私に云ふのであつた。ロシアでは今非常に日本に關する研究が盛であり、日

本語を語る幾人かの若い女がゐる。その中でも私たちの仲間の一人は自由自在に日本語をあやつるのであるが、あいにく今日ゐないのは殘念であると、その不在の女が、實は萬葉の達人であつたのである。然もその婦人が現に今日本に日本研究のために來朝中の、清水浪子孃なのである。

三、ある母娘

その夫人は英佛獨の三個國語をあやつり、日本の言葉すら少しはわかるのであつた。帝政時代には夏ごとに西歐羅巴に遊び、フランスの社交界にも顔をだしたほどの人であり、大學敎授である夫と共に、レニングラードでは可なり名の知れた人であつた。私はふとした事からその夫人の家に泊ることになつた。

家には女子大學出身の娘があつた。革命後の新しい敎育を受けた爲か、父母が純粹の白であつたにも拘らず、その娘はまつ赤であつた。母娘は折々思想問題で論議し、敎育の事で爭つたさうである。

「ねえ志垣さん、今のロシアの敎育は駄目でせう、さうではありませんか？」

私たちが敎育の事に就て語つてゐると、母親はさう云つて私に水をむける。

「いゝえ、お母さん。志垣さんは今の敎育に大賛成ですよ。日本で新しい敎育をやつていらつしやるんですもの！」

私はどちらにも味方せずにこにこしてゐると、夫人は一々具體的に事實をあげて攻擊の歩をすゝめるのであつた。最もこの夫人の云ふ所にも一理はあつた。私が携帶の寫生帳をだして紀念の爲に何か一筆かいてほしいと云ふと夫人は、喜んでペンをとりあげたが、さて書かうとして中々ペンが下りて來ない。

「何でもいゝんですよ」

「えゝ」

「ほんの一事でも」

「えゝ」

五分も十分もさうして考へこんだ、後で、

「とても私にはかけません」

「何故でせう」

「かけば屹度感情が出ます」

讀者よ。この夫人の注意深い態度について考慮あれ！

そこで夫人は仕方なく、その席に並んでゐたその夜の献立表を寫す事によつて自分の感情を表現しないですんだのであつた。

私はこの母娘について非常に興味をかんじた。

「あなたは今の政府をどう思ひます」

私はある時大膽にその娘に向つてきいてみた。

「勿論、大變い丶と思ひます」

「あなたのおかあさんやお家にとつては？」

私が云ふのを、皆まではきかないで彼女は云ふのであつた

「さうです、私の家にとつては大變悪い結果をもち來しました。ですけれどもロシアにとつて、ロシアの大衆にとつては大變にい丶事をしました。私は今の政府のやり方を讚美します」

かくて若い教育を有する人々のすべてが、その親だちの行つた道と違つた道を選び、新しいロシアの建設へと急いでゐるのである。

皮肉な感傷

並木琴子

恐らく
雨の中を逃れて來た生命(いのち)に
ちがひない

屍の不烈——
蚊
白紙の上にポツトリ落命する
生物の最後の姿である
唯物論が
吾々のドリームの中のエデンを荒し

プロレタリヤ經濟學が
資本主義の必然的崩壞の原理を敎へる
時
吾々は冷靜に、自己の墓穴を指示され
てゐるやうなものだ。

二八、六、一七

或る婦人消費組合運動者の手記

原口健三

――妾はノギン工場で働いてゐる一女工です。二ケ年間に妾の工場其他で八百五十人の組合員を作りました。現在妾は、クラスナヤ・プレスニヤ協同組合（消費組合のことだ）組合員代表であり、ノギン工場では協同組合委員會委員と工場委員會委員品候補を兼ねてゐます。

　如何にして妾は組合員を作つたか？妾には、別にその方法とか手段とかはありませんでした。妾は兎にも角にも活動したのです。一寸大袈裟ですが夜に日についで活動しました。三日間に百七十五人の組合員を作つた時の話をすれば斯ふです。

　妾は女工さん達のところへ行つて尋ねました。

――貴女方の仕事は如何です？お家庭は？貴女方は何處で品物をお求めです？

　これは協同組合の勸誘をやる場合、話のきつかけとして誰もやる常套語です。それから妾は續けました。

――一寸お尋ねしたいんですが、貴女方は協同組合にお這入りですか？

――い――え……まだ

わが身邊の記

むめお

雨にうなだれたあぢさゐの花を窓外にながめながら、ぼんやりと考へこむ。

　關西へ、ちよつと用達しに出かけて歸つてから臥こんでしまつた。忙しいのに、よくも病氣なんかしてゐるヒマがあることだと、自分で自分に愛想がつきてしまふ。

　ちようど梅雨になつて、うまく雨が降りつゞいて成程梅雨かなあと云つた氣持の日がつゞいた。私の氣分がよくなる頃までに、雨よきつとあがれよ、と天を仰いだことである。

　然し、考へてみると私はほんとに仕合せ者

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

――そりや又どうして……

――別に……

これで話は切れるものです。だが妾の勸誘はこれで終つたのではありません。この時妾は女工さん達の中からめぼしい、働き手らしい女を探しだすことを忘れませんでした。そうして、それからと云ふものは、彼女達のためにありとあらゆる仕事を手傳つてやり、特に彼女等が面倒な問題にぶつかつてゐる場合とか或は彼女等には一寸手が出せない仕事がある場合とかには、妾はきつと加勢に出掛けました。彼女等が妾のこの行爲を大變徳としたことは確かです。

妾は座談をしたり、演說をしたりすることは全然素人でしたが、組合の實際仕事に掛けては可成りの自信を持つてゐました。とうとう女工達は妾に向つて斯ふ云ふやうになりました。

――貴女はほんとうのことをお仰る……貴女の云ふことに異議は申立てませんが……

一寸斷つて置きますが、彼女等が妾を貴女と呼ぶ時はきつとトルスッウシカ(肥えた女)と呼びました。

妾は屢々惡る口も聞きました。こんな時は、妾は決して『しつぺがへし』などせず、默つてゐました。そうして、若し妾の云つたことに間違がなかつた場合には、女工さん達の心が靜まつた頃を見計らつて、靜かに丁寧に說明して上げたのです。この私の態度は女工さん達にも大變受けがよかつた樣に思ひます。

愈々、妾は出資金を集め出しましたそうすると女工さん達は妾を『ジプシイ』こ綽名しました。

如何でせう？ 五圓出資して頂きたいんですが？……此處で頂けるでせうか？

――そりやべら棒だわ……こんなところでそんなに澤山……

――じや、四圓……殘金は後で頂きますから、

――四圓ですつて……それも駄目

だ。こんなにして、いつも貧乏仕事にあくせくと追はれてゐるけれど、晝飯ごろに私の平素好きなおかずでもあると、今日あたりひよつくりとやつて來はせぬかと心ひそかに待つてゐるのですよ、と云つてくれる友人も幾人か惠まれてゐるし、こんな風なあわただしい生活に入つてからもう十年、漸くに着る物としては一枚も、これが私しのものと大びらに云へるものは無くなつてしまつたほど、素寒貧になつたけれど、暑くなつて、なほ袷を脫げなかつたといふやうな日とてないし、寒いとて、重ねて着る羽織にもコートにも不自由な思ひをしたことがない。

その代り、これを逆に云へば私といふ一匹のこのケチな人間の存在が、僅かばかりからして社會的な仕事をひきまわしてゐるためにどれ位澤山の人の好意を必要として來たことか。私の仕事の上に積み重ねられて來た澤山の人の澤山の好意はむしろ恐しい位である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

──三圓

──それも……

──二圓

──二圓…………もつていらつしやい。貴女は全くの『ツィガン』ね！

貴女にあつちやかなはないわ……

こんな調子で出資金を集めたのですだから、妾が彼女等のところへ出資金を集めに行くと彼女等は如時も斯んなことを云つてふざけました。

──皆さん？　つかまらないやうに妾達の『ツィガン』が來ましたよ……

因にツィガンと云ふのはロシアの一民族でこの民族は、一定の住居を持たず常に音樂や舞踏をやつたり、手品をやつだりして暮してゐる放浪民族です。

▲職業婦人協會活動に入る　六月三十日夕新らしい村會場で第一回の茶話會を開いた。工場監督課長北岡壽逸氏の「各國に於ける職業婦人保護法」の講話も非常に有益で考へさせられることの多いものであつた。降りつゞく雨の中にも拘らず、會場は熱心な職業婦人で一杯に溢れた。これから毎月一回茶話會をする。

▲政友會と婦選案　もつとも反動的な政友會が婦選案の一番鎗をつとめる。内部で、この次の議會までに婦選案を作成して自分の黨から提出しやうと目論んでゐるものがあつて、目下調査中とのことであるが、そんな見えすいた、不人氣挽回策としての婦選案に今更婦人がうまくのせられるものか。

▲女人藝術社創立　長谷川時雨女史は、今度牛込佐内町に女人藝術社を創立、近く女人藝術と題する月刊雜誌を發行する事にしたので二十八日午後二時麴町内幸町大阪ビル内レンボーグリルへ各方面の婦人を招待し茶話會を開いた。

神戸にまた、新しい別莊を一軒與へられた（東京市内にも、旅さきにも私が疲れたときつらい時に休ませて貰ふ友人の家が澤山にある。皆私の別莊である。（即ち神戸消費組合理事長福井捨一氏方の心づくしの床にゆつくり休ませて貰ひながら私は獨りで思うた──

東京には、疲れてゐる私の友人が澤山にゐる。どの友人だつて、休息が必要であり、安眠が必要であり、をいしい御馳走だつて時に欲しいであらう、私にばつかり、かうして別莊があり、いゝ友人が待つて居、御馳走が用意されてゐるといふ事は偏破すぎると。私の友人に對してすまぬやうな氣持で、私はそれらの多くの人の多くの好意をうけてゐる。

私の背後に古い印刷代の告訴がむらがり、雜誌の保證金の利子の矢のサイソクがあり、過勞があり、ちよつとした事の行き違ひから誤解曲解の包圍攻撃があり、等々々。かうした仕事に從事してゐるばかりに蒙らねばなら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戦闘的婦選運動について

パンカースト夫人の死を悼む

金子しげり

□

六月十五日の都下各新聞紙は一齊に英國婦選の急先鋒として世界的に有名なパンカースト夫人が十四日朝死去した旨を報導すると共に、紙面をさいて夫人の業績を傳へた。

日本でも婦選が一般の常識となつた今日では女史一派の所謂ミリタントサフラジエットの運動も已に「日本には決して入れてはならないお轉婆な運動」「女にあるまじき運動」として最も多く傳へられて居る。

所が、それらの新聞記事は、外國の通信を其儘載せたらしいものが多くて何れも大にその功績を稱へ、所謂フラツバーヴオートの實現を目前に控えて逝いた事を深く惜んでゐた事は、一寸皮肉でもあり、人間の一生は、柩に入つてからきまるといふ例へも、今更に思はれる事であつた。

ぬ苦しみも、不快も勘くないのである。然し、これとて私の友人の言をかりて云へば、私が自分で勝手に買つて出たものに外ならぬでないか。從つてこれはいつもの私のくせであるが、何事も『甘受々々』で、つらいことも、悲しいことも、腹の立つ事もみんな甘受して笑つてしまふより外ないではないか。

犬ころの様に、ねてゐる私のまわりで子供がころ〳〵して喜び戯れてゐるのに相手をしてゐると、久々に子供のふところに自分が歸つたやうな氣持になつた。子供といふものは野の雑草みたやうなものだ。何となしに、雑草を踏めば私たちの心は和ごやかにしみ〴〵として來るでないか。或ひは、雨みたやうなものでもある。慈雨とは、よう云つたものだと思ふ。しみ〴〵と草に木に降りそゝぐ雨の姿に見入り乍ら『ころびなさるなよ』と子供たちの後から言葉をかけて學校へゆくのを見

生ひ立ち

エメリン・パンカースト、は英國マンチエスター市に生れ、十三歳で巴里に學び、歸つてからは、弟妹のためによく母を助けて家事にいそしんでゐた二十一歳の時同地の辯護士リチャードパンカーストに嫁ぎ、翌一八八〇年長女クリスタベルを、更に二年後次女シルビアを生んだ。

夫のリチャードは、婦人の問題に對しては非常に進歩的な意見を有してゐた人で、一八八九年夫婦して、婦人参政同盟(Womens Tranchise League)を組織したが、當時九歳と七歳であつたクリスタベルと、シルビアの姉妹も已にこの時に、婦人運動に對する自覺を有つたと傳へられてゐる。（彼女等は何れも生存し、シルベアは第四インターナショナル運動をして居る。）

夫婦は、一八九四年には、揃つて勞働黨の前身である獨立勞働協會（Independent Lobor Party)に加つたが、リチャードはその後數年にしてなくなつた。（一八九八年）

婦人社會政治同盟の創立

後年英國婦選運動に、彼のミリタントサフラジエットを確立するに至つた婦人社會政治同盟の（Womens Social and Political Union） 創立は一九〇三年で、その頃長女のクリスタベルは已に勞働組合運動に参加して勇敢に働いてゐた。その刺戟が、夫歿後の彼女を蹶起せしめたといはれて居る。

この會は十月十日創立と共にまづランカシャ及ヨクシャ方面の有職婦人に向けて宣傳戰を開始し、次第に、勞働婦人間にその力を伸ばして行つた。

英國の婦選運動はこの頃までに約四十年間の歴史を閲して居り、フォーセット夫人やベッカー女史の卒ゐた婦人參政權聯合會(National Union & womens Saffrage Socities) の他保守黨提

送つてゐる私の心には影ない。

いつも、元氣な平田のぶさんが次のやうな手紙をよこしたので雨の日に私までめ入り込んでしまつた。

『婦人消費組合協會の方の事務になつてゐます。今日こそと思ひ乍ら一日の不快な勞働はもう私には次の働きの氣力を失ふさういふ意氣地のない自分をふり返る時に、私はやつぱり先天的に亡び行く階級に屬してゐる性格のような氣がして一層癪が立ち口と頭の人間で手足の人間でないのか心細い。私は口と頭の人間にはなり度くない。空想家にはなり度くない。それだのに、私の手や足はなんと無力の事だらふ。

時代の要求してゐる人間は、手足の人間だ私もさういふ人を尊敬し私もちつとでも、さういふ人間に近より度い。それは生きたいからだが。それでゐて私は何といふ實行力のな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

革同盟婦人部、自由黨女子團（Womens Lideral Federation）など政黨支持の團體も存在して當時は所謂貴婦人式方法、Ladylike methods）の時代であつた。

所がパンカースト夫人等の組織した新團體（W,S,P,U）はその構成なり傾向なり、行動なりに於て、全く行き方を異にし、指導者の多くは勞働婦人であり社會主義的傾向の持主であり、獨立勞働協會の支持者であつた。

かくて婦人社會政治同盟は創立後急激に發達し、成立後五ヶ年間の集會數約五萬回週刊機關紙 "Votes for Women" の發行部數三萬、宣傳費として得た寄附金額は十萬磅を越えたといふ。

ミリタント　メソッド
（戰鬪的方法）

世界的に名高いミリタントメソッドは一九〇五年十月二十日、マンチエスターに於ける自由黨のエドワードグレイ卿の政見發表會に示されたものを以て最初とする。

この時は夫人の長女クリスタベル・パンカースト、及び「W・S・P・Uのジヤンダルク」と呼ばれてゐた女工出身のミス、アンニー・ケニーがグレー卿に質問を發し、婦選採用を請願したが卿は黨が政綱に掲げざるの故を以て之を退けたので、彼女等はその演說の妨害を試み場外につまみ出され捕縛された上罰金を拒んだので投獄された。

爾來、一派は意識的に此種の行動に出で所謂 "Militant Methods" を確立した。即ち

一、已成政黨と結ばない事
二、如何なる政府にも極力反對する事
三、戰鬪的方法をとる事
四、目的の爲には手段を擇ばない事

が、この團體の四つの根本方針として傳へらるゝに至つたのである。彼女等は此行動を以て「ジヤンダルクに劣らず」となし、この方法による婦選運動者をサフラジエツト（Suffragets）と呼

さだ。ごらんなさい。私は、私の手で仕遂げた何一つもありません、どんな仕事だつてどんな小さい事だつて、私が自分でぶつかつてやつた事があるか。廣告一つさへ私は自分の手ぢやとれない。私は、或意味に於ける寄生虫的存在だ。私は私に腹が立つ」云々

人間といふものは、みんなそれ〴〵の病ひを持つてゐるものだ。平田さんがその性格に適つたいゝ仕事にぶつかつて有頂天になつて熱中してゐる姿をみるといつも私は誰のさういふ姿をみたときよりも嬉しく泪がこぼれるほど嬉しいのである。が然し平田さんといふ人間の底の底を流れてゐるあのまつ黑い憂鬱を知つてゐる私には、いつも自分の心の一隅にそれについて？　の何となしのひつ掛りを取除くことが出來ないでゐる。今も平田さんがそのどろ〴〵したまつ黑なものの中で身悶えしてあがいてゐるのだと思ふとほんとうに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

んで從來の運動者、卽ちサフラジスト(Suffra_ites)と區別した。

猛烈な運動振り

一九〇六年五月十九日初めての、大示威行列をトラファルガルスクエヤーに行つて成功した彼女等は一九〇八年の六月二十一日には、ハイドパークに時の首相アスキス氏の婦選に對する冷淡さを問責する爲に會衆實に二十五萬の大示威運動を行つた。

　この年十月頃にかけてアスキス首相に對する反抗的示威運動は猛烈に行はれ、犠牲者も亦漸く多く夫人自身もクリスタベルと共に十月には下獄した。



パンカストらが拘引される刹那

彼女等は投獄さるれば國事犯の待遇を要求し、又ハンガーストライキを行つて一切の食事を執らないので當路者は困惑の極、生命をつなぐ爲に食餌を鼻腔より注入したり、最後に解放すれば又すぐ投石暴行などによつて速かに捕はれ、獄に下り、所謂「猫と鼠」の方法によつて、當局者の爲す所を知らざらしめやうとした。

　之等は、一九一二年頃より益々猛烈を極め、街頭の大示威運動を敢てするに至り、白晝鐵槌を振つて、大商人の飾窓を破り數萬圓の損害を加へ、一九一三年八月にはアスキス首相を襲ひ、觀劇中の劇場に放火せんとさへし、又國立美術館の名畫ベラスケスを破つた。そして婦選が承認せらるゝま

辛い。

　私の中にも、自分自身ではどうすることも出來ぬ人生否定の暗い憂欝がこびりついてゐる。とき〴〵ひどい厭人病になつたり、する〳〵と深い懷疑に陥込んで自分で自分をどう引立てやうにもどうにもならぬやうなはづみに落ちたりして苦しむことがある。悪い病ひだ。私はいつもさう自分で自分に云ひながら妙にしみ〴〵した氣持でをいたはつてやる。

荻原眞子さんを哭く

　眞子さんが亡くなつた。身動きの出來ないやうなからだで臥てゐる私の枕もとに、眞子さんの遺骨が今日立つといふ知らせである何枚かの附箋つきで四日目に辿りついた、知らせであるが、とにかくに電車でからだを運ばせて東京驛に着いた。

　が、それらしい姿もなく、私はひき返した歸りのみち〴〵、人生は淋しいなとしみ〴〵とさう思つた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ではあらゆる政府に反對の態度をとる事を宣言して爲に一年二萬五千回の集會を行うて、被拘留者三六七名、被投獄者三一一名を出し、內一三一名はクヾプール、マンチエスタアその他各地で斷食を決行した。

運動の終結

この新方法は勿論大部分の人々の反對を買ひ惡評を蒙つたが、或る人々には其勇敢と犧牲的精神を賞揚された。

殊に議員に對する作戰が婦人參政權聯合會(U・N・W・S・S)が婦選賛成者には黨派如何に係らず援けたのに對し彼女等は、大政黨の政綱に揭げしめる方針を執つた事は實際的手段が建設的でなく、破壞的方法を執つた憾こそあれ、婦選運動上大にその功果を認むべしだこいはれて居る。

とにかく米國のビアトリスヘール女史の言をかりていへば『平和の代りに劍を慈愛の代りに憎惡を、美の代りに獸性を創造した』とパンカースト夫人一派のこの運動も英國といふ保守的な國に生れるべくして生れたものゝ一つであつたらうとは、相當世人の認めて居る所である。

而してこの運動は、極度に達した時世界大戰といふ偶然の爲に全く方向を轉換した。卽ち內爭を中止する意味に於て戰時中の休戰を宣し、夫人もクリスタベルも對外的戰爭の援助に活動し多大の貢献をなした。

世界大戰によつて、英國婦人は後方勤務にその實力を認められ、遂に一九一八年選擧權、次で被選擧權更に本年に入つて男女同權の參政權を獲得したが、しかし有利に導いた最も大なるものはこの人々の貢献であつたといふて誤らない。

□

さて、日本の婦選運動も今や、大政黨たる政友會が人氣取り策とはいへ、これを揭げやうとするの勢を示し、無產婦人團體これが支持を婦選運動の理

口舌の交りだけが友だちぢやないと交際の下手な私はいつも自分の辯解半分にさういふ一種の哲學?を持つてゐるのであるが、かうして死分れてみるとあわたゞしい生活におはれゐるまに、平素なつかしい友人の誰れ彼れと御ぶさた勝ちに打ちすぎてゐるのが今更のやうに淋しく賴りないことに思はれる。

私は眞子さんの私生活について悉しくは知らないが、幸福ではなかつたやうだ。私は眞子さんが好きだつた。そして尊敬できた、親切さうな世話をしない人、嚴しさうな親切を云はない人。然し眞子さんの様な人こそほんとうの親切が出來る人だと私はいつも眞子さの心のどん底に絶大の信愛をかける事が出來てゐた。

新婦人協會から婦人聯盟と、一緒に仕事をしてゐた頃もあつたが、眞子さんとしては未だほんの傍流にゐたにすぎなかつた。ちよつととつきが惡いものだから、中々人に親しまれなかつたし、眞子さんを好きでない人も

論鬪爭は將にたけなわなる日、まだ我國にはその片影もさした事のないとみられて居るミリタントサフラジエットに對して、大に興味のふかきを覺えない譯にゆかない。

　英國のミリタントは、大戰によつて愛國運動に變化したが、同じ流れが米國に傳へられては、アリスポール一派の婦人黨（Womens Perty）の運動となり、米國の婦選實施にはこの一派の活動が、根本的な働らきをなしたのだが今日はそこまで論及する暇がない。

　とまれ、日本には、決して起らないであらうか、起らずに日本の婦選が成就するであらうか、筆者はそれを讀者への課題として筆を擱く。

（二八、六、二七）

婦人界近時

▼汎太平洋婦人會議

愈々出發が迫つた。女教員會からは四名の代表が（東京二人、名古屋、大阪各一人）參加することになつた。婦人參政同盟からも一人割込んだ婦人參政權問題擔當の市川房枝女史のために送別演説會があつた（山田邦子、神近市子、岡本かの子、荻野綾子、山田わか奥むめおの諸氏）

▼聯合婦人會の飛躍

——會館建設案を可決——

東京聯合婦人會では去る五日の例會で、府會議員選擧に對しては「二業地指定に反對意見を表する候補者を當選せしむるやう努力すること」を決議して、婦選獲得同盟の政治教育運動と並んで大いに宣傳に努めたが、尙ほ今秋の御大典を記念して會館を建設すること全國の聯合婦人會設立の第一歩として大都市の婦人會に向つて聯合體の創立を促すことを可決した。

くなくないのを私は知つてゐたが、あういふ人が持つてゐるよさ、えらさは一寸普通の人には解らぬのだらうなと私は高をくゝつて、それを眺めてゐた。それに、眞子さんは、珍しく普通に女の人が持つてゐるやうな欠點弱點を持たない人であつた。仕事の出來る人にちがひなかつたのに、中途半破で死なしてしまつてほんとうに心殘りが深い。

　現在のやうに婦人界が小きざみに剪截して分れ〱になつてゐる時代は仕方がないとしても今にそれ〱に整理がついて婦人運動にも一つの大きな方向に出來上るにちがいない。その頃には又眞子さん（現在は婦選獲得同盟の理事であつた。）たちと一つ仕事に協力する時代もきつとあると思つてゐた私としては力をもがれた樣な寂しさも又大きい。

　謹んで眞子さんの靈の安かれと祈る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歸國の歌

林田秋子

霧島溫泉にて

湯に近くなりたるものか谷川の、硫黄の臭ひわが鼻を打つ

山深くたどりて吾子の疲れけむ、今は一歩も足を進めぬ

母われも病の後の衰へに、子を負ひて坂をのぼりかねつも

黄色照る山苺採り與ふれば、動かざる子の走り來にける

溫泉の宿のゆかたの臭ひうとましみ、ぬぎすてゝ着る己がゆかたを

澄み通る湯ぶねに獨りひたりつゝ、しみ〴〵と聞く瀧つ瀬の音

故鄕にて

故鄕にて漸々に死線を越えて故鄕に、歸ればまたも病ますわが脊は

いつしかに月は滿月となりにけり、留守居の吾子の如何に待つらむ

尋常科一年生の子が便り、家にひよこの生れしとあり

谷川に身體ふきつゝ打ち仰ぐ、み空にうすし三日月の影

谷川に獨り居て聞く水の音、我脊の病いつか癒ゆべき

さみだるゝ谷川に來て鍋洗ふ、竹の子笠に降る雨の音

溪川の音のみ澄めるぬば玉の、夜半の峽間に鳴くほとぎゝす

プロ獨語

伊藤とめ子

糧の代得まく質屋へ抱へ行く、包の上に花散りかゝる

人みなの花に狂へる休日を、書き入れ日ぞと我れ衣洗ふ

夕刊の賣り聲高き交叉路の、レールの上にシガー煙ゆれる

自動車に泥沫跳ねられ見上ぐれば、同窓の友の丸髷姿

偶然にたゞたまたまに耳朶の、厚き薄きぞ身の運命なる

『美み』はおのづからなる人の性情、心ねぢけし身のみならめや

經濟講話

資本主義の欠陷と消費組合

丸岡重堯

「資本主義の缺陷と消費組合」といふ題目の下に、極くわかり易い例をとつて解説を試みやうと思ふのであるが、大體話の順序を、

一、資本主義の本質
二、資本主義の由來
三、社會運動
四、消費組合

の四つに分けて述べてゆかう。

我々が住んでゐる今の社會を、資本主義の社會と普通に云つてゐるのであるが、一體、資本主義の社會とはどんな社會であるのか。この、資本主義の社會の本質についてはつきりした知識をもつておくといふ事は、特に消費消費組合運動に心を留めてゐる程の人々にとつては非常に必要なことである。

これに學問的な定義をつければ幾らでも言葉はあるが、つゞめて云へば、資本主義の中心をなすものは、

利潤の搾取(利益をしぼりとること)を目的とする經濟制度

である。もつと解り易い言葉で云ふならば、

金子儲けを目的とする制度

であるといふことで、全ての經濟活動(生産でも、交換でも、分配でも、何でも)の中心が、金子を儲けるといふことにあるのを云ふのである。今日、車夫でも、車掌運轉手でも藝妓でも、自分が車をひくことを喜びとしてやつてゐるので

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

もなければ、自動車電車を走らせることを樂しみにしてやつてゐるのでもなく、又、お客の便宜を計り、お客を樂しませるために働いてゐるわけでもないのであつて、詮じつめてみれば、皆金子を儲けんがためにやつてゐるにすぎない、勿論すべて人々が活動するにあたつて一々、金子儲けといふ事を意識して常々、その一念だけで動いてゐるといふわけではないけれども、今の社會では全ての人が、全て何ごとを行ふにも金子儲けといふことを無視してはやつてゆけぬのである。たゞその結果に於て人々はそれらの人間活動の結果、いろんな利益や或は便宜を得てゐる――得てゐない場合もあり、反つて弊害不便を得てゐる場合もある――然し、活動の動機はつねに金子儲けに出發してゐることは爭はれないであらう。

從つて、かういふ時代には、全て人間の意志や思想は、所謂博愛、利他で動いてゐるのでなくて利己心で動く。これは資本主義制度の必然の結果であつて、博愛衆に及ぼしたいのは山々であるけれども、今のやうな社會では、さういふ氣持だけで動いてゐてはやつてゆけないのである。

或る地方に大飢饉が起つた。ある金持の持ち倉に米が一杯積まれてある。飢えにヒンした群衆がその米がほしくて、その倉に向つて殺倒したとする。この時、この倉の中の米の値段は、高くなるだらうか、安くなるだらうか。或ひはそのまゝの値段であらうか。

ものゝ値段は、いつも需要と供給に依つて定る、といふ事は經濟學の初歩にも書かれてゐて原則である。賣る物に對して、買はうとする人が多ければ値段は高くなる。買はうとする人に對して賣る物が多ければ、値段は下る。ところが、この飢饉の場合に、如何に澤山の人が米倉に殺倒したところでその人々に米が今、絶對に必要であり、そして米が欲しいと思つてゐるのだとした處で、單にそれたけであつて、どの人もそれを買ふ力を持つてゐない限り、米の値段は上りもせず下りもせず、元の儘の値段で變りはないのである。もし、この中から、たとえ一人でも、三人でも、買ふ力を持つた人が出て來れば、値段は勿論すぐに上る。

フランスの社會改良主義者フウリエーが二十歳の頃マルセイユの穀物問屋につとめたのであつたが、凶作のため大飢饉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が來て澤山の人々はパン（メリケン粉がないから）を食べることが出來ず、ジャガ芋で僅かに飢えをしのいでゐた。

その時主人は、アフリカから澤山の穀物を輸入したのであつたが、あまりに澤山に來たために穀物の値段が下つて、飢饉が下火になりかけた。でもつと穀物の値段をつり上げなくては大變だといふので、陸には澤山の、食ふべき穀物に不足して困つてゐる人々があるにもかゝはらず、船から穀物を陸に揚げず、そればかりかせつかく輸入した穀物を海中に投げ捨てさせた。フウリエーはこの奇怪な現象をみて、商人のやり方に――ひいては資本主義社會の組織には大變な缺陷がある、といふ事について深く〳〵考へさせられその結果、後には熱心な社會改良運動家とまで、彼を導いたと傳られてゐるのである。

ところで、全て世の中のことは、常に一定不變のものではない。始終動いてゐる。社會の制度も、絶えず動いてゐる。今のやうな金儲け本位の資本主義の世の中も、昔の昔からさうであつたのであり、今後もいつまでも永久にこのまゝに續く、わけでは決してないのである。

昔の經濟史をみると、利益を得るために經濟活動を初めたのは、ずつとあとの事で、初めは、人々はそれ〴〵の必要に應じて互ひに交換活動をしてゐた。われ〳〵の家庭に於ては現在でも、その制度をみることが出來るのであるが、家族の者は能力に應じてそれぞれに働いてゐるが、その結果は、餘計に働いたから餘計に衣食するとか、少しも働けないのだから病氣になつても醫者にかけるわけにはゆかぬ、といふわけのものではなく、家族の者の全體の必要に應じて、その家庭相當にとも〳〵に使つてゐるのである。然るに家庭以外の世の中に出てみると、今日では、全くさう行はれてをらず、金子がなければ、病氣になつても、飢えても、どうすることも出來ずその儘死んでしまふ、それに對して世間も別に不都合とも思はず平氣でみすごしてゐるのである。全て金の力で動く世の中である。

金子萬能の世の中。すべて金力で動いてゆく世の中は、資本主義制度の發達につれて、だんだん弊害がひどくなつてゆき、露骨になつてゆきつゝあるのであるが、一般の人々はだ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

んだんそれに痲痺してしまつて、それについて何にも感じなくなつてゐる位である。

社會運動は、かういふ、今日のやうな金儲け本位の資本主義社會の弊害から、我々みづからをまぬがれさせやうとして協力して行ふ運動である。

では、この運動を起す人は（全體）誰かといふに、それはプロレタリア（無産階級）である。

無産階級とは財なき者を云ふのであるが、自分の主要な生活資料を、自分の働きで得なければならない者は全て無産階級である（從つて工場に働いてゐる勞働者ばかりが無産階級ではない）そして、今のやうな金子儲け本位の社會で、最も強い打擊をうけなければならないのは、かういふ無産階級の人々だちであるのだから、この人々が主體になつて社會運動が起されるのである。

次に社會運動は、次の如く二つの形態をとつて進む。

政治運動
經濟運動　（勞働組合運動、協同組合運動）
（協同組合運動と消費組合運動とは全然同一のものであるといふ事は出來ないのであるが、大體一つのものとみていい）

政治方面に運動を進めてゆくのが政治運動であり、經濟方面に進めてゆくのが經濟運動であつて、この二つのものが、必らずしも、全く別の人々に依つて行はれてゐるものとは限らず、同一の人が、政黨に加入して政治運動に携はる一方、勞働組合員となつて勞働組合運動にも參加し、又、消費者としては、協同組合運動（即ち消費組合運動）にも參加して三方から社會運動を進めてゆくことも出來る、否、全て、無産階級の人々は、この三方面の運動に參加しなければならないのである。

シドニー・ウツエブは、人間には大きく分けて、三つの職能がある。一つは市民としての職能、二は、生産者としての職能、三は消費者としての職能である、と云つてゐる。社會運動は、この三つの方面から三つの職能を發揮してゆかねばならぬものである。

消費組合運動は、かういふ大きな理想をもつてゐるものであるが、この遠大なる理想を貫徹するために非常に卑近な處から、即ちわれ〳〵の臺所から、共同にものを買ふといふ生活から、こつ〳〵と着手して行つて、やがて社會改造の大目的をなしとげてゆくのである。（文責筆記者にあり）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國際消費組合デーを祝へ！

全國の消費組合員は、毎年七月の第一土曜日を國際消費組合デーとして、一日の仕事を休んで祝ふことにしてゐます。いまや、われわれのこの國際的な祝祭日が來ました。婦人よ、國際消費組合デーを祝へ！

消費組合の團體は、今日では三十四ヶ國にわたつて地方支部が八萬五千、五千萬人の組合員をもつと云はれてゐるのでありますが、われわれも婦人消費組合協會の一員として、今日の國際記念日を祝ふにあたつて、特に消費者としてのわれわれが社會改造の大業に對してうけ持つ重要な役割について深く反省してみたいと思ひます。

世の中をみますのに、不景氣は深刻になるばかりです。賃銀はどしどし下げられても、冗員淘汰で馘られる者がどんどん出ても、働く仕事がなくつても、物價は依然として下りませず、税金は殖えても減りつこはないし、子

供は次々に生まれる。貯へどころか、今日のやりくりにさへ一家の會計主任たる主婦は、ある限りの腦味噌をしぼつてなほ至らざるを泣いてゐる仕末であります。

而も――生活即政治とさへいはれて、われわれの生活を離れて政治はない、と、今日では誰しも常識でそれを是認してゐますのに現在の政治は、果してどう行はれてゐませうか。例の震災手形で幾億圓の損失を國民に負はせて有名な久原房之助が、あのごうごうたる天下の輿論の反對を尻目にかけて大臣に納つてしまふ世の中であり文政の府に畑ちがひの勝田主計が大臣として納まつて、それで思想善導だこいふ世の中であります。金の力が一國の政治を――それも白晝公然と蹂躙して、一般民衆の生活などはてんで顧みられてゐないこの有樣。

こんな世の中に生きてゐて、消費者として一家のきり盛りをしてゆかねばならぬ主婦が、腹も立てないで一錢二錢の險約に爪に火をとゝすやうなしがない生活に沒頭してゐるのだとしたら、それこそ世の中はマッ暗やみであります。今の世の中では、われわれの生活は、われわ

れの一家内だけの節約や改善ではもう決して納まりのつかぬ時代になつてゐます。主婦としてのわれわれの生活は今日ではもう完全に社會網につゝみこまれ、編みこまれてしまつてゐるのであつて、社會事情の變化、移り變りを超越して自分の生活だけを泰山の安きにおかうとした所で絶對にそれはできぬのであります。

昔、われわれのお祖母さんの時代には、味噌も醬油も大根も、芋も自分で作つたし、着物も、紡ぐことから織ることから縫ふことまで自分の家でしました。電氣もなかつた、水道もなかつた、從つて私たちの衣食住一切が殆んど人の手をかりないでいはゆる自給自足でやつてゆけたのであります。かういふ時代の內こそ、家庭にゐて臺所を主宰する婦人は世の中と殆んど沒交渉でやつてゐてもそれでやつてゆけたかも知れないし、自分の家の中だけのことを自分の思ふ通りの程度の生活で行ふてゆくことも自由であつたか知れませんが、今日のやうに大產業組織の分業制度の世の中になつては、一滴の水も、一本のマッチも、味噌も、米も、澤山の人手と複雜な組織を經てわれわれのところへまで來るのですから、世の中の景氣不景氣の大波小波はすぐに私たちの消費生活に影響を及ぼして來ます。內閣交迭だ、出兵だ、どこそこの凶作だ、と、ちよつと考へればぢかにわれわれの家庭生活には何の影響もないと思はれるやうな出來ごとが、一つ一つわれわれの生活に、或ひは支拂ふ税金の上に、子供の教育の上に、實に密接な關係をもつて影響して來るのであります。

これほど世の中の事情と密接な交渉をもつ生活の主宰者たる主婦が、世の中の事情にてんで無關心でゐられませうか。

婦人は、社會的な出來事に對して、もつと〳〵廣くいろんな問題に興味をもつやうにならねばならないし、もつと〳〵强くいろんな問題に共同の責任感を以て深く感ずる樣にならねばならぬ。そしておひ〳〵と婦人全體の意志から、みんなの努力でどん〳〵世の中の組織を改めてかゝる處まで進んでゆくべきであらうと信じます。

殊に、消費組合の運動につながる私どもとしては、今日の賣り買ひの制度がつゞいてゐる限り、物品は全てわれ〳〵の必要のために提供されるのでなくて、利をまうけるために提供されるのですから買ひ手としての私たちは、幾人もの中間商人にぼられたり餘計なものを買はせられたり、ごまかし品を掴まされたりして際限のない搾取に苦しめられなければならない。消費者としての私だちの自覺は飽くまで今の商業制度に對して反旗を高くかゝげて生產方法の管理まで實際運動を進めゆかなければ駄目だと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人消費組合協會の便り

婦人消費組合協會の規約が出來ました。どなたも、あなたのお知り合の婦人がたへ入會の勸誘をして下さい。二錢切手封入でお申込下さいましたらすぐお送りいたします。

婦人は全て婦人消費組合協會へ！

婦人消費組合協會で、各地方、各區に支部を設立してゐます。特に家庭婦人の立場から社會的活動を進めてゆかうとする私たちの主張に共鳴して下さるお方は、今すぐにあなたの手で支部を作つて下さい。

協會本部員は、各地方、各區の支部應援に出かけます。

婦人消費組合協會の活動で、各地の生產者と直接の取引を初めて消費者としての主婦の生活に便利多からしめたい、良い物、安い物確實なもの、この三拍子を揃へてあなたのお手許に屆けたいものです。

買物は、生產者より直ちに消費者へ！

婦人消費組合協會が中心になつて、物下値下げ、不正品征伐の鬪ひを開始しませう。兒產保護、母性保護、有職婦人の待遇改善、學校、敎育の改善等々しつかり婦人の要求を主張しませう。

社會改造の原動力母性はわれらのもの。

婦人消費組合協會は全國に亘つて、消費組合、(購買組合)の內部的改善のため加勢します特に消費組合、(購買組合)に婦人の熱心なる參加を促すために適當と考へられるいろんな實際事業を行ひつゝお力添します。

消費組合の仕事は特に、婦人の協力で發展させたいものです。

▲東京モスリン工場の女工爭議　三百名の女工が結婚の自由を求めて、外數ケ條の要求と共にストライキをつづけてゐた、東京モスでは會社側が讓步して次の諸項目の目的を達した。

一、同一工場內の結婚は親の承諾があれば差支ない。二、女工の外出門限は十一時迄に延ばす。三、夜間專任の醫師をおく、四夏期三ケ月間は氷券と入浴券を每日支給する。その他。

▲婦人辯護士法案　朝野の法曹團から委員を擧げて久しく司法省で協議中であつた辯護士法改正案は最近漸く具體案がなつたので來議會には政府案として提出される筈であるが、無論通過の見込みであると。多年の要望であつた婦人辯護士も愈々實現の期が近付いた。此のため法律を學ぶ婦人は急に增加し東京の各大學法科に籍を置く者が約百名もあると云ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

陽氣の加減か？

——時事新報より——



ほんとに、

「御じやうだんでせう」だ。

政友會でも、民政黨でも誠心誠意から、婦人の參政權を必要とみとめて、これを實現させやうとしてゐるのでは決してない。

人氣取り政策だ。

黨勢擴張の方便だ！

婦人よ、

彼らにだまさるな！

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

クローバにそゝぐ雨

神近市子

一

夏のしづかな雨が、庭のクローバの上に降りそゝいでゐる雨に洗はれて緑の色を深める草の葉の、書見に倦きた眼に何と快よいことであらう。椽先きに近く植えられたこの草を、私は日に何度深い滿足をもつて心に愛撫することであらう。

　クローバは、去年子供達が近所の空地から次々にこがして來て植えて置いたものであつた。强い丈夫な草で、七月の烈日のさ中にこがして來たものなど、一日は葉が眞白に燒けてしまつたが、夕立などあると又すぐ緑の葉を吹き出して、新しく更らに成長を始めた。

　去年この家に越して來た時、庭は荒れて殺風景だつた。樹など文字通りに一本もなく、生垣は立枯れて犬や子供が出入りした。慌しい借家住居に、金をかけて滿足できるほど植木を入れることも出來ないので、どうしたものかと考へてゐた矢先き一つの考が私の頭にきらめいた。

　私は子供達に連れられて近所の空地に出てゐた時、不圖ごこにもクローバが一塊まりづつ根を張つてゐるのを發見した私は若い頃過した長崎の學校の丘の上にある廣場を思ひ出してゐた。そこには一面にクローバが植ゑてあつて、初夏のこの頃は緑色の絨氈をしきつめたやうであつた。下級の子供達が、その上で花や葉を集めて氣どつた王冠など編んで戯れた

　私の前には、幸福な一つの幻影が浮んだ。

「一寸、一寸」

　私は驅け廻つてゐる子供達を呼んだ。

『クローバを庭に植えやうか。』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私は、子供達に提議した。

『枯れても芝のやうに汚なくなくていゝのよ。』

『賛成！』

子供達は、私の提議に手を擧げた。

春から夏にかけて、子供達の熱心な移植事業が始まつた。

幾日位かゝつたか、子供達は氣が向くと熱い日なかを汗をたらして近所の空地からクローバをこがして運んで來た。強靭なこの、植物は、移し植ゑられても水さへ絶さなければ、夏の日中でも平氣で新しい土の上に根を下ろした。

夏には、もはやその青い葉が庭先きに下り立つ私共の眼を樂しませた。

淡綠の水々しい長い莖が、濃綠の三つ星形の葉をつけて微風にゆれる姿はなまじの草花よりもはるかに鮮かないゝ印象を與へた。白い花が實用向き一方のおとなしい家庭的な細君を思はせる淋しさはあつたが、その代りに花がすがれて汚くなる恐れはなかつた。何時見ても新しい葉が、靜かに微風にそよいでゐる姿は美しかつた。

子供達は、すぐに誰からか敎へて貰つて來て王冠を編み始めた。小さい子供は上の子供にそれを編んで貰う爲めに、屢々小半日クローバの花と葉を集めて歩いた。

今年も子供達はクローバを摘み始めた。

二

私は、今年はもう土いぢりはしない積りでゐた。

去年の秋、末の子が乳ばなれしてしまふと、私は急に慌しい氣持に襲はれ出した。久しく勉强を怠つてゐたといふことが、鉛のやうに私の胸を壓しはじめた。どうかしてこの何年かの間失つてゐた時をとり戻したいといふ念願で、私の心は一杯だつた。土いぢりなどで貴重な勉强の時間を消すことはすまないと思つて自分では一切手を下ろさない積りでゐたのであつたが、暖かくなるとその決心が一堪りもなく覆されてしまつた。

最初は田舍から出て來た百姓が手傳つてくれるといふのでもうその時芽を出し始めてゐたダリアの球を畑に出したのが病みつきであつた。畑を整理して植ゑ出して見ると、自然桓根が壞はれてゐるのが氣になつたり、草の出るのが氣になつ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

たりしてゐるうちに、何時となしに又私は着物の裾をはしよつてゐた。土に戯むれる樂しさが、私の心に甦つて來た。私は我慢出來なくて、折よく汲み取りに來た懇意な百姓に野菜苗を賴んでしまつた。

茄子が二十五本、トマトが二十本、胡瓜が十五本、隱元豆が若干、今私の貧弱な畑には植ゑられてゐる。まだ花畑の一隅を整理してそこに胡瓜とトマトを十本位づゝ植ゑ添へる積りである。

去年は胡瓜が一番よく出來た。僅か十本位しか植ゑてはゐなかつたが、夏中を通して殆んど數へる程しか八百屋からは取らなかつた。

次ぎはトマトだつた。胡瓜には絕えずベトウの豫防に硫酸銅をかけたが、トマトの病氣のことは知らなかつた。それで手當てをしなかつたので病氣にかゝつたものが一二本はあつたが、それでも可なりによく出來て、小さな子供達など兩手で抱へるやうなものが出來た。水によく冷やして砂糖をふりかけたものを、子供達は西瓜と同じよろこびでたべた。

新しい野菜の甘味しさを私が知つたのは、この駒澤に落ついてからである。最初入つた家には可なり廣い空地があつたので、手當りに菜つぱや大根を播きちらして見ると、それが相當に出來て漬物や汁の實などにして見るとそれが大變おいしい。そんなことから思ひついて、それに健康が思はしくなくて長くブラ〳〵してゐたことも手傳ひとなつて、ツイ畠道りに深入りしてしまつた。

私の母は半農の家に生れた人であつたらしいが、土いぢりが好きで寡婦になつてからは家についた少しの畠があつたのを實に手際よく耕して、家族に野菜の不自由はさせなかつた

私の家は醫者を業としたから從つて村中が集つて來るので家族の者はキチンと身仕舞ひをしてゐるのが常であつた。それで夕立ちが來る前など、夕立前の肥料はよく利くからと云つて、母が濡れ仕度にひどいボロ浴衣なんか出して肥料を汲んでゐるのを見ると、姉達と共に私もひどく澁面したものであつた。が、畠仕事に對する母の愛着は不思議に强いもので他の者が容喙する餘地がなかつた。實際に母が眞劍になつて泥にまみれて土に鍬を入れてゐるのを見ると、子供心にも私など畠に立ち入ることさへ敢へてしなかつたものであるが、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

この頃になつて母のこの精神の復興を私は自分の中に感ずるのである。

自分で手盥にかけて野菜や花の手入れをしてゐると、その育てゝゐるものゝ意志がよく感じられる。除草をしたり肥料をやつたりした後でシト〲と雨が降るのを夜中に聞くと、私はそれらの草や花が地中に根を張り枝をのばす樣子を目前に見るやうな氣がして、夜明けが待ち遠しく感ずることが屢々ある。

提案一つ

婦人消費組合協會の各支部や、本部に、ミシンがあつたり、靴下編みの機械があつたり、百科全書があつたりストウドがあつたり、婦人服子供服の型紙が澤山備えられてあつたりして、協會員は誰でも自由にそれを使ひにゆく。そこが家庭婦人のクラブにもなつて、丁度來合せた友だちと話し合ひながら、子供の靴下を編んだり、洋服を裁斷したり、お菓子を作つたりして歸つてゆく。稀にしか使はぬもので、高價で、しかし一寸必要なものが澤山にあるものである。さういふものを婦人が共同で持つて、共同で利用し合ふことができたらいゝと思ふ。

又、婦人の求職者に仕事をあげられる樣に（利用組合）一つの組織を持て、和洋服の仕立物をひきうけたり、洗濯物、とき物をひきうけたり、或ひはお惣菜や、お菓子や、どこの家庭でも必ず必要な仕事、必ずどこかで買はねばならぬものの中で出來さうなものを、その方面の技術のある人として貰ふて、協會員は成べくさういふ組織を利用して共同に生活する――生産組合の仕事に參加することなど、よかろうと思ふ。

殊に、學校の家庭會や、町村の婦人會主婦會などは着實な仕事に附く方法として、これが一番いゝ仕事だと思ふが家族の者の着るもの位は主婦が自分の手で作る、或ひは自分の會で作つて分ける、といふ風にしたいものである。婦人消費組合協會が卒先して講習會の世話をしたり、講師を派遣したり（その間に經濟思想をつぎ込んでゆくのは勿論）直接製造元との取次ぎで安く原料を提供したり、一切の生産を引受る事も出來るといゝと思ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斷片三つ

田邊一子

神の存在について

去年の、たしか七月頃の事だと思ふが、明治神宮外苑内の青年會館に於て、羽仁もと子氏の著作出版を機とする、婦人講演會が催された。井上秀子、山田わか子、吉屋信子などゝいふ知名婦人をはじめ多數の應援辯士が、各二三十分づつの短い演說を試みた末、最後に御本尊である羽仁もと子氏が、演壇に現はれた。そして、聽衆に對つて、私はこれまで思想しつつ生活しつつと言ふこの二語を以て、自分が生活上の標語となしつつあつたが、今度はそこへ、もう一つ、祈りつつの一語を加へたい。即ち神を信じ、神に祈りを捧げる事である、と言つた。

多くの聽衆にまじつて、會場の一隅に腰かけながら、この語をきいてゐた私は心中に思つた。一體この世に神といふ人間以外の特別な存在があるものか何うか、その事は無力な自分などの未だ思ひ及ぶところではないが、しかし私達は日頃神の存在を思はうとする時、いつもきまつて自身に良心のあるかないかを思ひ、自身が持つてゐる信念の正しいものであるか何うかを知らうとするのである。我々が日頃いふところの神とは、我々自身のうちにある良心、言ひ換へれば正しい信念のそれと相通ずるものの謂ではあるまいか。なほそれを別として、我々が日頃言ひつつあるこころの神とは、それは我々人間同志が我々自身の身を修めるために、假りにさういふものがあると假定した上での、所謂方便に過ぎないのではないか。羽仁氏はきつと、それを言つた後に、この事に言ひ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

及ぶであらうと。

羽仁氏はしかし、この事については、一言半句も言ひ及ばずして壇を下りた。

私はあの場合、羽仁氏自身言ふのを忘れたか、さもなくばまだそれまでに考へが及んでゐないのであらうと思つた。しかし、これは自分の獨斷による偏見かも知れない。

だが私は、神に祈りを捧げる前に、自分自身のうちにある良心、乃至正しい信念に向つて、力強い生活を送つて行かうとしてゐるものなのである。

相互の反省を促す

古來から、男子にくらべて女性は有名になりやすいものと言はれてゐる。この說は、表面から見ればさしてふしぎな說とも思はれないが、しかし、深く考へて見ると、そこに或る複雜した矛盾のある事がわかる。自分が思ふところでは、眞の意味の名聲は男女を問はずさうやすやすとかち得るものではないと思はれる。特に一般的に見て古來の女性がかち得て來た名聲といふものは、それは多く、實力の伴つたものではなくて、容貌の美等による場合が多く、眞の意味の名聲ではない場合が多い。私はさきに、この事について、日本にすぐれた女の藝術家乃至作家の現れない所以を、世の多くの男性の罪だとして黎明（自分等がやつてゐる歌の雜誌）六月號に貧弱ながら一文を揭げて、その反省を促して置いた。ここに私はもう一度この事をくりかへして世の男性の反省を促したいと思ふ。而して私は、一方に於て、さうした偏見による男性の行爲（女性に對するにいかなる場合に於ても容貌の美等を以てその第一義とし樣とする）に對して反省を促すと同時に、一方に於てさうした偏見による、男性の一面に頼らうとする、世の多くの女性に對つても又反省を求め樣とするのである。さうして私達は、今後いかなる方法かによつて、私達女性の全部に、男子同樣の、實力乃至能力を把持せしめた上社會上に於ける、我々女性の位置を確固たるものたらしめたいと思ふのである。

女性の社會的地位
私達の藝術觀

今日の我々にとつて何が一番大切だかと云へば、矢張り生

きて行く事のそれである。それも正しく生きて行くといふ事のそれである。だがしかし、イプセンの戯曲にもある通り、この世で、ほんとうの事を言ひ、正しい道を歩いて行かうとするのは容易な事ではない、眞に容易な事ではない。我々は日常、心中に眞實を求めてゐる、けれども實生活の上に於てはわう〳〵にしてさうした自身の考へを枉げなければならない羽目に立たされる場合が多い。そこに、正しく生きて行かうとする人間としての、我々のなやみがあり、煩悶がある譯である。ここに於て我々は、生きて行かなければならない關係上、實生活の上に於ては、到底したり言つたりする事のならない眞實、即ち自分の本心を藝術によつて表現して行かうとする。かかる念願から、藝術の世界に入つて來た者である以上我々は藝術の上に於ては少しでも眞實に近い物言ひをなし、眞實に近い行爲を行はうとするのが當然である。しかるにこの邊の自覺の念の足りない或る一部の連中は、自分らの名聲や位置等といふものを考慮するの餘り、眞實の世に傳はる事を極端に恐れて、そのため種々なる策を講じてゐると言ふ話がある。又或る一部の女流作家の間には或る世間的な事問の雜誌へ自分達の作品を掲載して貰ひたいばかりに、假りに編輯者であるその人の弟子になつてゐる者さへあると言ふ私は斯樣な話を耳にする度に、その人達の藝術的良心に缺けた卑しい行爲を思つて腹が立つて來るのを何うする事も出來ない。

　私達の作品に噓があつてはならないと同時に、私達の藝術上に於ける態度にも、僞りがあつてはならない。

　私達は泣くにも笑ふにも大聲を以て、おなかの底からし樣とする。そして人間として、止むを得ないといふところ（常識的な意味でなしに）を出さうとしてゐるのである。

　なほ、私達が生む作品は時代的なものでなくてはならない時代的なものといふ事の意味は、その時代にかかわりを持つた作品といふ事である。その時代にかかはりを持つた作品とは、その作者自身の實生活を現したものと言ふ事である。我々の作品は我々自身の實生活を現したものであると同時に、實生活上に於ける我々相互の進歩を促す力を持つたものでなければならない。即ち人生に對して、積極的な意志を持つたものでなければならないのである。

今日の我々は、もはや、くづれ落ちる雪、飛び立つ小鳥を見るよりも、日々の新聞紙に掲載される勞資の問題に力強い目を注ぐ、そして、我々は道理上無產者の立場にあつて、物を言ひ事を爲さんとしつつある者である故に、我々の作品は勢ひ眞裸なものならざるを得ない。卽ち直接に響くものであり、よくわかるものであり、はげしいところのあるものでなければならないのだ。

我々の作るものに嘘があつてはならない、我々の藝術上に於ける態度に僞りがあつてはならない、僞らないところに、藝術こたづさはる者としての我々の使命があるのであり、意義が存するのである。おお、さうして、それのみが、僞りを排する心のみが、我々の實生活を合理的ならしめ、我々女性の社會的地供を確立する唯一の道であると私は思ふのである

服部時計店

購讀者をふやすために御加勢下さい

近頃『婦人運動』の讀者が大分殖えて來てゐるのが何よりうれしい。

もう一息だ、私たちは讀者を三倍にしたいのです。いや三倍加しなくては立つてゆかぬのです。讀者から拂込んで頂く誌代で印刷代がとにかく追ついてゆくやうになるこ、安心して、全國の書店にも出して一般販賣が出來るのであります。

ちようど、六、七、八の三ケ月はどこの雜誌も、あんまりうれない月に數へてゐる位ですから、とにかく秋に入るまでに讀者を三倍にして經濟上の基礎をかためてしまひたい、そして九月あたりから一般にも大いに宣傳して書店でも賣ろうかう豫定を立てゝゐます。

どうぞ、讀者三倍加のため、お友人に、おすゝめ下さつて讀者をふやして下さい。お願ひいたします。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

科學記事

一本のマッチ

　私達が食つたり寢たり、働いたり、する日常生活に、何でもなく使つてゐるいろんなものも、その一つ一つを調べて見て、それが此世に現はれて來るまでにはどんなに大きな人間の努力、血と汗とかその爲に捧げられてゐるかと云ふ事を知つたならば、眞實、驚かずには居られない。

　一例を上げれば、私達の日常生活に最も密接な關係のある「火」——ものを煮るにも、明を灯すにも、汽車の走るにも、なければならない——だつて、それが人間の手に自由になる迄には、隨分永い歴史と、いろんな苦心が潜んでゐるのである。

　人間が火を造り出す迄にも、無論火はこの世にないわけではない。火山の火だとか、雷の發火だとか、つまり自然の火がそれである。

　人間は最初、この自然の火が、物を燒いたり闇を明るくする事を知つて、これを手に入れる事を工夫し初めた。それには遠い噴火口や、自然の發火で山火事を起してゐる處へ行つて、枯木の枝などに、その火をうつして大急ぎで自分の小屋へ持ち歸つたのである。

　かうした時代には、火は極めて、大切なもので、一度消してしまつたら、又それをに手入れるのに非常に骨が折れるので、寢すの番をつけて、火種ねを絶さないやうにしなければならなかつた。元始時代に火が尊敬されて神のやう崇められたのも、こんな理由(わけ)からで今でも野蠻人などの中にある拜火教など云ふ宗教はざうした處から起つたのである。

　次に人間は、こうした困難から救はれ爲に自分達の手で火を起す事を發明した、それは枯木の片を、棒で穴のあく程、摩つて、その熱くなつた處へ、枯草を乘せ、息を吹きかけて、發火させる方法である。

　この方法も、初めは手だけでやつてゐたのが、段々工夫されて、棒に紐片を卷いて、その棒の先を口に喰へて、紐の兩端を引張る方法や、一人が棒を石で押へて二人掛りでやる方法など、次々に考へ出された。が、その中に人間は又別な發火法を考へ附いた。それが鐵片と石とを打ち合はして、火を起す方法である。

　我國では明治の初め頃までは、燧石にほくちをそへて、鐵片と打合して、火を起す、この種の發火法を用ひてゐた事は何人もよく知つてゐる事である。

　又昔のギリシヤ人は擴大鏡を用いて太陽の光線を吸引して、それで發火させたと云はれてゐる。

　次に世の中が次第に進化すにつれて、藥物で發火する方法が考へ出された、これは今から三百年許り前、ウイーンで發明されたもの

で、硫黄附木を硫酸に侵し、それにポッタース鹽と、砂糖の混合物をつけて、發火させる純然たる化學的作用の發明であるが、この方法は金がかる上に、危險が件ふので、日常用ひられるには至らなかつた。

十九世紀になつて、英國人の藥劑師が、いろ〳〵苦心の結果、硫黄と、ポッタース鹽、アンチモニー粉の混合物を木片につけ、それを紙にこすりつけて發火させる方法を發明したそれから數年の後にアンチモニーの代りに燐を用ゆると、一層發火の工合がいゝ事を發見した。これが即ち一頃よく用ひられた燐マッチである。處が此燐マッチは大變便利には違ひないが、餘り發火し易いので、ほんの一寸した不注意からでも、すぐ火事を起したりなんかするので、この危險から遁れる爲めに發明されたのが、現在一般に用ひられてゐる安全マッチである。

安全マッチは燐を棒の軸へ塗る代りに、それを砂と膠とに混じたものを、箱の横側に塗り、そこへ軸をこすりつけるのであるから、過つて發〓するやうな事はなく、安全であると云ふ處から、その名が出來たので、今では世界中至る處へひろまつて、用ひられるに至つたのである。

發火法の發明には一本のマッチの發明にさへこれたけの苦心とが宿つてゐるのであるから、日常我々が使つてゐる凡ゆるものの蔭にどれだけの苦心が捧げられてゐるか想像するに難くないと思ふ。

さうして、今一歩進んで、我々の考へなければならない事は、世の中のいろんな發明や發見が齎した恩惠は單に金があると云ふ事の爲めに一部の人々に獨占されるべきものでなく一本のマッチのやうに安價に、凡べての人々に、その恩惠を分つのが本當であると云ふ事である。

▲社會事業大學　京橋區明石町聖路加國際病院では此度日本に初めての國際的の女子社會事業家を養成すべく、同大學建設の案を立て、近々着々と〓體的に實現の運びになつてゐる。

▲無產婦人關東協議會　勞働總同盟婦人部が主唱して無產婦人團全國協議會組織の前提として關東協議會を組織すべく、近く各團體と連絡することになつた。

▲大阪の女子高等醫專近く認可　大阪市に於て計畫中の和辻博士を校長とする大阪女子高等醫專の設立問題は、當局に於て大體許可の意嚮であると。

▲家庭婦人に圖書の貸出　九段下の大橋圖書館では家庭婦人は家庭生活の繁雜のためか折角主婦のために備へた書籍雜誌も殆んど閲覽されぬので、一般家庭婦人のために家庭文庫の貸共を始めると。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

讀後の感想

「戀愛の道」

並木琴子

私は、コロンタイ女史の著書『赤い戀』と『戀愛の道』について批評すべく命ぜられてゐるが、手許にある戀愛の道を讀んだきり他は一字もよんでゐない。然し、赤い戀に對する諸氏の又諸姉の批評が一樣に素晴らしい讃辭のみであつたのに對して、同じ著者である戀愛の道を讀んだ私としては、著者の戀愛觀の凡てを、煽動的讃辭をもつて許し度くはない。

勿論、イプセンのノラが、あの頃の無自覺な女をして感激せしめ、そして自覺へ導いたことについてノラを通してイプセンの貢献するところは絶大であるやうに、戀愛の道に於けるコロンタイ女史の戀愛觀についても、略々同樣のことが云へるのかも知れないが、所謂近代的歐洲思想のみをもつて我意とせざる私にとつては（或は時代精神を解せざる舊思想かもしれないが）何といつても、あのやうな戀愛を是認はしても賞讃することは出來ない。

作中、三人の女性の中で私の氣持に一等近くふれるところの多いのは、先づ祖母に當るところの女、マルヤ・ステパノヴナであるやうに思はれる。

だが然し、恐らく近代的戀愛觀の立場から云へば、最も縁の遠い程型の古い、平凡とも思へる戀愛の姿であらう

彼女は、一人のかたくなゝ惡く云へば人間を解するに困難な軍人――聯隊長の妻としてあきたりなくて、軍醫であつてしかも理想主義者である男の許へ走つたことがあり、その男が使の女と關係したのを知つて男の留守中に逃れ出るといふところなど、いかにも私でもしさふなやり方だと思つた。

娘の、オルガ・セルヂエヴナも云つてる通り、彼女は性道徳に於ては衒學的とも云ふ程嚴格だといふのだから。

それから二十年後の、オルガ・セルヂエヴナになると、夫とそれから友人といふ思想的に正反對の美しい男に對する自分の氣持が、身を任してゐながら、戀と愛と同情の判斷がつかず、そして、自分ではどふしてもそれが一等自然な人間の氣持だとあく迄主張してゐるのである。

だが、吾々はこゝに彼女を、單なる小説中の女としてのみでなく、もつと身近な女性として考察する時、何と彼女の自然主義的曖昧な云ひ分であり、戀愛觀であるかに一面には物足りなさを、一面にはだらしなさを充分に感ずるものである。

最後にゲニアの言を引用しやう。

『あなたがいちばん不思議に思ふのは私が色々の男と、たゞ彼等が氣に入りさへすれば彼等を愛してゐてもゐなくても構はずに關係を結ぶことでせう？

ご存知の通り、戀をするには暇がなければなりません。戀をするには非常な時間と精力が必要です。私達はこの地區で多くの仕事をもち、解決すべき重要な問題をもつてゐます。このあらゆる時間を私達から奪ひ去られる革命の時代に、そんな暇がどこにあります？始終いそがしくかけまわつてをり、頭はいつも幾千の緊急な問題で一杯です……むろん、靜かな時間もあることはあります……そんな時に、私達は誰々が自分の氣に入つたといふことに氣がつくのです。だが、ぜひともわかつて頂きたいのは、戀をするのに充分の暇を私達が持つてゐないといふ事です」

凡ゆる時間を吾々から奪はれる革命の時代？……吾々はそこに考えやう、そふした忙しい革命の中にあつて果してまじめな戀が出來ないものであるかを……

私はもはや、こゝは國の東西を、又時間空間を問ふ迄もない。人間の魂を最も淨化する戀愛に於て、吾々がそれに直面した時、いかに眞執な態度を必要とすべきかを思ふものである。

『女』

私がまだ『女』を讀まない前に、或一人の友人へ『女の中にはどんなことがかいてある？』と、きいたら、『そふね、つまり、女の一生ね』と後一言二言いつたが、なるほど一人の女性の一生を描いてあるには違ひない。

只、結婚前の彼女は虚榮的な古い型の女から脫してゐて、自分の周圍の女たちがつまらない服裝の話に熱中したり、又はダンスホールに若い男女が互に肉の享樂に耽つてゐるのを莫迦らしく思つてゐた。

彼女は、或時彼女の妹が戀人に對して永久の愛を要求してゐるのをきいて憤慨してゐる。彼女に云はしむれば、その言は『私は永久に美人中の美人です』といふ自惚れの極だと嘲笑し、そして『誓』といふ言を否定してゐるところに面白味があると思ふ。全く、吾々がどふして感情上の問題に對して『誓』などといふ大膽なことが言へる筈はない。

彼女は美しい戀人と家庭をもつた。若い戀人同志の結婚生活……それは恐らく肉體を通しての人間の幸福の絕頂であらう。只、そこに吾々が物足りなく思ふのは、生活の苦悶――正しく强く生きるための何等の精神鬪爭もないことである。そして、どつちかと云へば生活が有閑的であり、彼女の個性が全で結婚といふもの丶中に、男の中に消えて仕舞つた感がある。

だが、單純な彼女が、戀人である夫の愛の中に凡てを任し切て、幸福に醉はされてゐる心境の表現は全く飜譯もので なければ見られない辛辣な筆致である。

全體的には實に豊な詩的情緒にとんでゐる。そのために思想的には單純なる女性が幾倍にも評價され描寫されてゐるやうである。

烙印されたる苦艱（六）

（婦人革命家の一生）

ヴェラ・フィグネル手記
大竹せい抄譯

國の歴史のあらゆる瞬間にたいして、非常な役割をもつてゐた、といふのである。この國家權力は、古代ロシアの政治組織である封建制度を破壞した。人民は、昔は年貢制度のもとに、土地を與へられた。それから後になつて、農奴制度が起つた。そして貴族制度がつくり出された。はじめは國家の役人として、それから後に國家の規制から解放された貴族、地主階級として彼らは存在した。だが、この階級が次第におとろへ、貧しくなるに從つて十八世紀のはじめまでには、さしもに榮華をつくした領主制度は衰亡していつた。そのとき多くの分割されてゐた國家の土地と農民は、より富貴なるものゝ私有物から解放されるに至つた。そして新らしい時代が來

『人民の意志』派

その頃『土地改革（チョルヌイ、ペレデエル）』派は、ほとんど、『土地と自由』の綱領をとり入れたゞ、人民の中で直接に活動し、さうしてブルジョアジーに對して闘爭するために、人民を結成する必要がある、といふことを、はつきりと綱領のうちへ書き入れたゞけであつた。

ところが『人民の意志派』はその綱領のうちへ、まつたく新らしい根本思想をもいれた。その根本思想とは、人民の生活の全制度にたいする中央集權的な國家權力の意義と影響といふことであつた。彼らの考へによると、この要素はわれ／＼の

て、かの一八六一年の、農奴解放となつた。が、農民が身を私有農奴の境涯から解放されるや、國家權力は、自由な人民の勞働の最大の搾取者となつた。この權力は土地分譲によつて農民を解體した。が、その土地の分譲は農民の勞働力の程度よりは遙かに少なかつた。この不充分なる土地分譲は年賦と貢税によつて農民の收獲の全部を徴集するこいふ不合理をはらんだ。かくて多くの地方では、國家の土地收入は二倍以上にもなつた。

かうして中央集權化された國家が、軍隊や艦隊や國家の外觀的な力をかざる一切の支出、または國債のために大部分が費され、國民經濟のためや教育のためにはほんの僅かな支出を裂きあたへるところの豫算の、八、九割は農民の下層階級から搾り出されたのである。

であるから、經濟關係においてその時代の國家は最大の私有者であり、また他のより小規模な搾取者を支持するところの人民勞働の略奪者の首長である――と『人民の意志』派は解釋した。政府は農民階級を經濟的に抑壓しながら政治的權利を剝奪しこゐた。社會が、政府に影響をあたへ、それによつて社會生活の改善をはかるといふ唯一の手段は、著作と新聞雜誌であつた。しかしそれも完全に抑壓されてゐた。そこには學術的研究と言論の自由もゆるされないのに、新聞や雜誌が何にならう？

それでもなほ、人民の啓蒙に邁進した人々は流刑や要塞監獄におくられ、或は常時的に警察の監視をうけた。そのうちの最善、代表者達は、チエルヌイシエフスキー、ミハイロフ、グルッエン、サルトウイコフ、フレロフスキー、シエルグノフ、ピサリヨフ、ラウロフ、ドストエフスキー、プルガーキン、ミハイロフスキー、その他であつた。彼らのもとに學んだ若い人々も同樣の境涯におかれた。人民にたいする平和的宣傳に彼らが向つたとき、彼らは大衆的な檢擧にあひ、流刑徴役に處せられた、彼らがこの强壓に憤激したとき、彼らはいくたりかの政府の役人に報復した。この憤激はまた死刑をもつて官憲の側から報復された。

一八七八年の半ばから一八七九年までにロシアでは十八人の政治犯人の死刑が行はれた。この政府の彈壓にたいして『人民の意志』派の革命的分子は戰ひを宣言した。彼らは、そ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の宣言のうちで〇〇こその現存機關をば、人民の最大の敵だと言つた。そして、その手段として革命的行動の中心を農村から都市にうつして政治的闘爭に全力を注ぎ、人民のうちに一揆を準備するのでなしに、權力を自分の手にとり、これを人民に移讓するために最高權力にたいして陰謀を行ひ、更に中央集權化された敵との闘爭を成功にみちびく必要條件として、革命の力を嚴格に中央集權化する――といふテーゼをたてた。かうしたプログラムは當時の革命運動の世界に根本的な變革をもたらした。この立ち場は、古るい革命意見をもつた人々と『人民の意志』派との絶縁の動機となつた。

かくて一八八一年、まへの土地と自由の本部は解散され、エス・イワノワ女史は秘密活版所と共に別のところに本部を設けた。私もリハレワといふ變名でクヴャトコフスキーと一緒にそこに住んでゐた。彼はその年の十一月にその家で檢擧されてしまつた。

この本部には、『人民の意志』黨の執行委員會がおかれてゐた。そして、私達はそこで黨のプログラムを審議し、そして裁決した。

はじめ、モローゾフは細胞會議で裁決された綱領を朗讀した。が、出席者はそれに同意しなかつたので、チホミーロフが別の案を起草することゝなつた。そして、順調に討議を進め、たいした議論もなく、その綱領を採用した。

（つづく）

原稿募集！（締切毎月十日）

生活記錄（四〇〇字詰用紙五枚以内）

職業生活の感想でも、母の感想でも、社會に對する皮肉でも、注文でも、ほんとうに思つたこと、感じたことなら何でもよし。

參觀記、經驗記（四〇〇詰用紙十枚以内）

見たもの〻紹介や、經驗記は、全ての人に參考になつて隨分い〻ものです。殊に、家庭生活におはれてゐる人や、職業生活で他にひまのない人たちには、本誌を通してお互ひに見聞をひろめ合ふやうに計りたいものです。

創作・歌・詩（長短隨意）

殆ど全ての雜誌が、今日は、たゞ營利本位で編輯されてゐる。文藝雜誌でも、評論雜誌でも、婦人雜誌でもい〻ものだから掲載されるといふのではない。賣れさうなものだけが、編輯者の選に入るのだ。一冊でも餘計に儲けなくてはいけないからだ。從つていつもい〻ものばかりが載つてゐるといふわけのものでない。雜誌界全體を通じての低調さ加減！　俗惡さ加減！　はみなそのために外ならないのである。

從つて、世にかくれたすぐれた婦人の才能も、かういふ世の中では伸ばしやうがない。女流作家が水の上の泡のやうな人氣に左右されたり、人心收攬術を心得へた者が比較的うまく原稿を賣り擴めてゐるなどいふ事實も、それは婦人全體への冒瀆であるとしても、口惜しいことだが、それが現在の事實である。

私は、こ〻に「婦人運動」の存在する意義があるのだと敢へていひたい！

婦人の中に人知れず持つてゐるい〻才能を、どしどし本誌を通して世に公表しませう。本誌を婦人全體のために手習草紙に提供してよろしい。

おひ／＼と讀者をふやして經濟上の基礎をかためて、毎月新聞廣告も出しませう。書店にも出しませう。大いに本誌を宣傳する必要があるといふのは、本誌に、すぐれた婦人の才能を、そして婦人の眞實なる生活の叫びを母の聲を、一杯に盛つて、世に問ひたいからに外なりません。現代の婦人の聲がききたくば、「婦人運動」を讀め！　かう云はうでありませんか。

「婦人運動」をい〻雜誌にしませう。「婦人運動」に眞實なる婦人の叫びを山盛りにもり上げませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

映畫物語

歩み疲れて

◇

これはパラマウントの映畫。監督がトム、テリスで、恐らくはテリス一代を通じての傑作であらう。主演者が有名なジョン、バリモアの兄で、泥棒をやらしたら深刻無双の手腕のある名優ライオネルバリモア。助演したのがマノゲリテ、マーシユ。清麗可憐。溫雅至極の淑女であつたが、今はもう故人となつた。

物語は寧ろ甘いセンチメンタルな物のである。映畫を見てゐると映畫獨特の味や情緒が流れてゐるのが堪らなく快く、二度三度見直す位は平氣になれると云へる作品である。

◇

シカゴのビルは、泥棒仲間の用事があつて紐育へ來たが、用事が濟んだので、もう歸らうと云ふ心になつた。顧みれば紐育なんか詰らない都である。自分の氣に入る事何一つなかつたではないか。よし、こんな詰らない町は見棄てゝ早く歸るとせう。コーヒー一杯とパンの一片で輕い晩餐をとつて、夜汽車に乘つて出發するか……。

と一軒の安料理店へ入つて來た。

勘定をすませて、いざ出かけやうと煙草を啣へて、勘定臺の娘に聲をかけた。

「姉さん。マッチを貸してくんねえ」

「どうぞ！」

女の聲は優しかつた。見上げると其の娘の何と初々しい事よ！

ビルは亂暴な口を利いた自分を恥ぢて、云ひ直すのだつた。

「すみません。貸して下さいねえ」

其の時は其の儘立ち去つたが、外に出て思へば思ふ程忘れかねるのは娘の身の上。まゝよ、シカゴへなんか何時でも歸れるんだ。も少しあの娘の樣子を探るまで此の紐育に滯在しやう。かう決心したが、さて決心してみると紐育も万更棄てた都でもなかつた、

ビルは宿屋へ戻つてから、寢臺の上に轉りながら獨り考へつゞけるのだつた。

あの女は何處に住んでゐるんだらう？

親はどうしてゐるのかしら？

生活狀態は何うであらう？

そして、毎晩家まで送り屆けてくれる男を持つてゐるだらうか？

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それから夜な夜な、娘の歸宅を見え隱れに尾いて行くビルの姿が見られた。娘も終には之れを覺つた。だが、何故あの人は毎晩私に尾いて來るのかしら。普通の男なら何か機會を作つて口を利きたがるのに、あの人だけは違つてゐる。

「貴方、何故毎晩尾いていらつしやるの？」

一夜、女は思ひ切つて訊いてみた。男は躊躇したが、やがて「たゞお送りするだけです」と答へる。娘は嬉しがつた。心からの嬉しさが何時か快い微笑に變つた。

やがて二人は戀を語る仲になつた。或日二人して海岸へピクニックに行つた。冷しい潮風に輕く袖をなぶられながら、娘は男に寄り添つてゐた。後れ毛が頰を撫でる。娘の顏は沈んでゐる。

「氣分でも惡いのですか？」

「いゝえ。でも……」

「でも……？」

「母が惡いんですもの、轉地しないと危いんですつて……」

そして、娘は貧しい我々に轉地は出來ないと語つた。男は、そんな金なら私が作つて上げますよ、譯ない事ですと引受けた。娘はやつと安心する

娘と母とが轉地する時は、新聞がビルの銀行竊賊を報導する時であつた、ビルはその時檢事の手を潜つて、彼方此方逃げ廻つた。（映畫では世に容れられない支那人洗濯屋とビルの交情を描いて、低徊趣味の頗る纏綿たる心境を描く。場數を踏んだ泥棒が、逃亡中の苦しい間に抱く心の餘裕など面白く示してある）終に、ビルは捕はれた。

入獄すると間もなく女からの面會があつた。私ゆえに、自分の自由を拋つてまで……なさらなくてもよろしいのに、と女は云つた。女の感謝に滿ちたその眼ざしよ！　ビルは、どんなに嬉しかつたか。

女からの接見は長くつゞいた。ビルには幸福な月日が流れる。然し間もなく、女の來訪が途絶した。母の病が再び重つたと云ふ便りが來た。ビルは心に惱んだが如何ともしがたい。たゞ女とその女の無事を祈るばかりである。

すると或日、意外な手紙が來た。讀みながらビルは顫えた。驚いた。自分の目を疑つた。手紙にはかう書いてあつた。

今日は貴方の私です。が、明日は他人の私です。いろ〳〵お世話になりましたが、迚も母の病には打ち勝てず、醫藥轉地の凡てを引受けてくれる人の望むに任せて、私はその人に嫁ぐ事になりました。云々。

ビルは狂氣のやうになつた。絕望しまいと焦り立つた、然し、凡てはビルに不運な動き方をして行つた。

數年の後、破れし心を抱きながら、迎ふる者のない世界へビルは放たれた。第一に心にかゝるのは女であつた。手を盡して女の行方を尋ね廻つて、女の母が既に故人になつた噂を聞いた。それから或る靜かな別莊地に、戀せし女の家庭を見た。女はもう母となつて、愛する夫と子供との溫い生活を樂しんでゐた。ビルの心の痛手は、遂に救ふべからざる致命的となつた。

かうしてビルと女とは永遠に路傍の人となつたのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

振向かぬ人

葵イツ子

すつかり白紙で、天井も壁も貼りつめてあるので、白い紙函の中に這入つたやうな氣持ちのする二階である。

此處は、黨支部の事務所になつてゐるから、毎日幾人もの青年が集つて來ては、激しく意見を戰はせたり、會合などの相談をしては、また出て行つて了ふ、恰度一つの大きい機械の、原動力のやうな場所であらう。

弘子は二三日前から名古屋に來てゐて、言葉の訛りの古風な情趣も、餘程耳に慣れて來たのであるが、此處の人達ばかりは、新時代の讀書家で、その訛りも、殆んど無くなしてゐる。

高い机や、低い机の間に、椅子や、椅子代用の箱を置いて、先刻からの話が、まだ續いてゐる時であつた。

誰かゞ階段を上つて來るらしい樣子、不圖見ると、その人は、青年の一人ではなくて、若い洋裝の婦人である。弘子は意外に思つたが、まだどういふ考へも、浮ばないうちにその人は弘子の方に歩み寄つて、

「私、坂井かほると申します、どうぞ宜しく」

一息に言ひ乾して、親しみの昂奮を瞳に漲らせてゐる。

「どうかよろしく」

弘子が應じると、かほるは近くへ椅子を持つて來て腰を掛けた。

向ふの方から此の支部の委員の吉田といふ青年が、机に肘をついてそれに首を載せたまゝで、かほるに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「いづれ君に紹介するつもりでゐたが」
と言つたが、かほるは、
「あれなの、嘘ばかり」
「本當だよ。まだこの人は來たばかりだ」
かほるは、その辯解に答へもせず弘子に
「今ね、下で伺つて來ましたの、ほんとに遠くからよくいらつしやいました……東京の方の情勢はどんなでせうか此方はとてもまだ人が無くつて困つてゐるんです」
吉田は、かほるの昂奮の說明をするつもりなのか、揶揄ふやうな調子で
「此の人が、名古屋ではまだ、最初の一人の婦人鬪士です」
かほるは
「口が惡い」
と言つてから
「まだ此方では婦人同盟は組織せられないで、準備委員會があるばかりですが、封建的な土地なので、仲々思ふやうに渉らないんです」

弘子は、一秒毎に純眞さの底へ運び込まれて仕舞つて自分が運動に關係しないで、私用で來て、舊知を訪ねたといふ事情を話したかつたのに、こんなに熱心な人に對してさう言つては濟まないやうで、困つて仕舞つた。然し幸ひに、かほるは時計を見て、
「あら、もう時間がない——では失禮します」
と立上つた。そして
「あの、まだ二三日はいらしやるのでせう。も一度位はお目に掛れますね、何處かへ散歩にでも御伴しますから」
「えゝ、ではまたお目に掛ります。充分御活動なすつて下さいね」
かほるは立つて行つて見送つた。踏む度に壞れさうな音のする楷子段を降りてから、
「さようなら、ではもういちど」
さう言つてかほるは躍るやうに出て行つた。

二

肩は茶色で、裾は黑で染めてあるかと思ふ位に古くなつてゐる、吊鐘マントといふのを着て怪物のやうな恰好

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

をして、繁華な市中を平氣で歩いてゐる丈けでも、吉田は變つた青年だと思はれる。

彼が若し、新思想を解してゐなかつたなら、或ひは道學者になつたか、それとも、花屋か骨陶屋かになつて、人に賣りつけることよりも、自分にその商品を嘆賞して暮して損ばかりしてゐさうでもある。

皆が外出して、吉田ばかりが殘つてゐたから、弘子はそんなことを想像してゐたが、

「吉田さん、よく讀みますね、少しお話してもいゝこと」

彼は默つて肯定を表はすやうに、本から眼を離して、此方を向いた。

「昨日のかほるさんといふ方は、旺んに運動をなさる方ね」

「さうだらう、僕が見附けたんだ」

「まあ得意さうなこと、見附けるつてどんな風にして」

「話さうか」

「勿論よ、聞かうと思ふから質ねてゐるんぢやない」

「さうかも知れん」

「どんな・の」

「七月だつたね——新聞で婦人問題を論じてゐる婦人があつて、鳥緒良い頭だつたから、こんな人を指導すればよい鬪士が出來ると思つて、その住所を僕が探して訪問したね、それから、話したり、本を讀ませたりするとずんずん進んで來て、九月の縣會議員選擧の時には、演壇に立つて、三拾回も應援演説をやるといふ進出振りだ」

「さう、そんな近頃の方、實に純な熱情のいゝ運動家だわ——どんな職業を持つていらつして」

「小さい雜誌の編輯だから、まあペン勞働」

「御家庭にも煩はされることは無くつて」

「田舍の方から、一人で出て來て下宿してゐるんだから」

弘子は、そんなだつたら、吉田はかほるをもつと優待すればよさゝうなものだと思つた。

三

三人が並んで歩いてゆく。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

宵の廣小路は大空の闇の下の方で、冴へた光や、鈍い光が混み合つて、街頭を美くし、漂ようやうに歩いてゐる人の感じにも、派手な光線を泌み込ませてゐる。

例のマントが右に、弘子が中央に、かほるが左になつてゐる。

弘子が

「かほるさん、あなたは何故白粉をお使ひにならないの」

「私、そんな氣持にはなれませんの」

その聲の中には輕い憤慨が含まれてゐた。——あゝ、あの雰圍氣！ 憐らしいこと——

弘子は倚びながら、その裝飾の無い、生々した膨らみの、新鮮な筋肉の一包をもう一度見た。そしてまた言つた。

「でも、お若い日が惜しまれますのよ、まだ運動の方もその決定的な瞬間に、進むまでには長い時間がありませう。彌よ數日まで迫つた時には悠々と白粉などをつけてゐたなら、處罰されても仕方がありませんけれど、今のうちには、御自分の爲にも、もつとお盡しなさいませな」

「さうでしやうか、私、種々な方から、何故お化粧をしないかつて、よく質ねられますけれど、御化粧なんかね……」

かほるは強く辯駁したいのを旅の人には氣兼ねするらしく、それで止めた。それからはまた、小さい靴で、總てを蹴散らしでもするやうに、無雜作に歩いてゆく。

吉田が

「今夜は愉快だね」

と無神經でないことを、急に証明した。かほるも、弘子に、

「私も、近來にない樂しい夜なんです、いつでも同志と會ふ時には、鬪爭的な問題ばかりで、私は苦められるんですが、今夜は婦人の味方があるから、全く優勢です、——あちらはあんなに溫和しいでせう」

マントがまた言ふ。

「君達は一體何處へ行くんだ」

かほるが

「何處つて、吉田さんの責任じやありませんか」
「僕はそんなことを引受けてはゐない」
「でも一等先に歩いてゐるから」
暫くして吉田は左に曲つた。かほるは、弘子に、
「此の道を眞直に行くと、大須つて賑かな場所ですが、……お好きでないかも知れませんわ、觀音があつて、その附近に活動館だの露店だのがありますの」
「さう！ 別に何處でも」
人出の多いところで、吉田は友人に出會つて少し話をしてゐるひまに、二人が幾らか歩いて行くと、見失つて仕舞つた。
だが、あのマントは、混雜の中でも見出し易かつた。
弘子は、眞中にゐるのを外して、誰かの脇に行つては話してみたが、いつの間にか、また眞中に入れられて仕舞ふのである。
良い才能を持つた、同じ思想の、年齡も其他の點でも全く適當な若い二人がゐる。それに二人は非常に親しい氣持ちでゐるでは無いか、毎日のやうに一緒に、同じ運動の爲に働き續けてゐるでは無いか。
二人を並べて遠くへ追ひ遣りたい。
だが二人は、知らずに何處までも、並んで歩いて行くのであらう！
二人は互ひに向つて戀し合ふといふことは、思附いてゐない。
若し弘子が、尖鋭な言葉を投げて、それで二人の胸が破られたなら、その熱い戀に驚かされるのではなからうか？
かほるが話し掛けた。
「あの、此前からなんですが、毎朝語學を遣つてゐるんですけれど……他の方は一日中全く果敢な鬪爭を續けてゐられるのに、私ばかりが、そんなことをしてゐては、濟まないと思ふんですし……でも必要ですから勉强したいんですが」
弘子は辛かつた。
自分は今、あんな空想をしてゐた。その間にもかほるの心には、階級戰がいつぱいになつて居たでは無いか！

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

嫁（創作）

榎本八十子

一

「姉やゐるか」

雨戸も大戸もぴつたり閉まつてゐる戸口に立つて、三吉は念の爲に聲をかけたが、四邊りはひつそりとしてゐて人の氣配もない。

「どうしたんだ、工合よく無えつてのに」

三吉はつぶやき乍ら、家の廻りをぐるりと一廻りしたが、誰の姿も見へぬ。

竹籔に圍まれて、陽の光りも充分家には惠まれない窪地のうら淋しさは、午後三時を過ぎた空の色にも反映して、見る眼に沈んだ氣色を味はせる。こんな日蔭の庭にも、卯の花は白々と散り終へて青葉が深々と繁り合つてゐる根元に夏菊が二三本細々と伸びてゐた。

麥を一杯積み込んだ低い軒下に立つて、雜草の生へるに任せた庭とのけじめもつかないやうな汚れた縁側に山のやうにつくねた野良着を、ぼんやり見てゐた三吉の前に、足音もなくたみはひよりと立つた。

「姉や、按排惡るいてえのに出歩るいてるのか」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「今、田圃い茶うけ持つてつて來たんだよ」
たみの呼吸は苦るしさうだつた。三吉はそれを胸に泌み泌みと受けて
「相變らず無理べえしてるんだな、醫者に診て貰ひなな、思ひ切つてよ、何ぼ家の者がいけねつたつて、病氣にもよらなあ」
「でも此頃あ、ちつたあいいのよ、どうやらかしきが出來るからよ。お母樣あ、そんだつて田圃へ出ねつて愚圖々々云はつしやるけど、何と思つても體が云ふ事利かぬわ、子供なんか、生むその日まで、田の草取つたり、原へ行つたりしたもんだつて、つけ〳〵當りなさるんだけど、もう流産だつて四度だもの」
「そんなにするか」
「一々川井の方いは云はなかつたけご、四月と持たねんだも、今度こさあ、之でもう六月まで持つて來たからわたしや一生懸命になつてんだけご、脚氣だの、心臟病だのつて、お母樣あ、どうせ流れるんなら、餘計苦るしむだけ損だつて云はつしやるけどもなあ」
「そんな、馬鹿なことあるもんか、誰が何つてつたつて、命あつての物種だい、出來るだけ無理しねえやうに、はたで氣をつけて吳れねつて嘘だ」
「でもな、てめえの惡いな廣造との相性が合はねだの、方角のよく無えところから來たのつてお母樣云ふよ、何かつてえと、荒神樣の御機嫌損じだの、井戸神樣の罰だのつて、惡いこたあみんなわたしの故だよ」
「ふん、今更になつて相性だの方角だのつて騷ぎ立てた義理でもあんめえ、たみちやんを嫁に吳れなきや、木小屋の梁に首突掛けるどなんて嚇かしやがつて、あの時のお母樣の權幕つてなかつたんじやねえか、廣ちやんにし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

たつてさうだ、いくら溫和しいからつたつて鬼の樣な婆あの云ふ事に默つてゐて法あるか」
「だつて仕樣がねえわ、俺の生きてゐるうちや、廣や嫁の自由にやさせねつてんだものよ、それよか三ちやん、何の用なのよ」
たみは疲れ切つた體を、泥で汚れたかさかさの綠にぺたり腰かけ、三吉は雨垂れでへこんだ軒下の庭に立つてゐた。
三吉は、たみに何の用かと問はれると、話さうと思つて來た決心も鈍る。たみは三吉の樣子を鋭どく見守つてゐた。
「何の心配事なの？」
「うぅむ」
「嫁さんの話決まつた？」
「おすみちやんとの事か、ありやてんで話になりやし無えや、百姓なんかに嫁にゆくなあ御免だとよ、頭が低いから話相手にもならねえ、第一骨許つかり折れて、百姓なんかする位なら生れて來ぬ方餘つ程いいつて、一ヶ月前に東京へ行つちやつたからな」
「まあ、あのおすみちやんがどうしてそんな事云ひ出すやうになつたんだね、驚いた」
「驚く事あるもんか、みんな云ふ事だもの、まつたく姉や見てえな、犬猫よりも非道い扱ひうけて、年から年中引きずり廻されてゐるの見たら、誰だつて考へらあ」
「それも運だと思へば………そいで三ちやんも何處つかへ出て見やうてのか」

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たみは恐わ々々聞いた。

「俺がなんでそんな事するものか」

「じや、外に嫁さん決まつたの」

「まあ決まつたやうなものだ」

「誰よ、おさとさんか」

「あの人あ、もうとつくに丁町の八百屋へいつたぜ、姉や聞いたら吃驚すらあ、だけど、俺の考へ間違つてるやしねえ積りだ」

「誰だつてことよ、そんなに焦すもんじやねわ」

「谷戸の志野田のよ」

「谷戸の………」たみは本當に吃驚して聞き返した。

「何んだつてそんな所の……」

「姉やもそれ云ふのか、俺、姉やだけは何も云はずに、悦んで呉れると思つて來たんだがなあ、そりや谷戸つて云つただけで、みんな變な顔すらあ死んだおつ父んだつて、墓の下で怒らあ、だけど、ちつとも差別することあねえど」

「そりや、三ちやん、志野田の何てつたつけ――あれは、あお鈴ちやんか、お鈴ちやんがよくなつちやつたからそういふんだろ、そいでなくてそんな途方も無え事仕出かすなんてあるものか」

「じや　もう話さね、姉やまで俺を馬鹿にするなら、俺はもう、姉弟の間柄だつて、何だつて切らあ」

「まあそう怒るもんぢやねえ、そりや三ちやんさへその氣ならと云ひ度いけど、お母樣が承知しないだろ、それなら村の衆だつて默つちやゐないし、親類の衆にも何てつて顏向けするのよ、姉弟の緣切られたつて仕方無えけど、之で煩せへもんだからよ」

「俺 何もかも覺悟してやるこつた。俺の村で谷戶の者と一緖になるなあ俺一人だ、俺が始めだ。谷戶の者つてえと、人間扱ひにしねえなんて、ごの位俺等が偉いだ。俺等、谷戶の者と一緖になつたから、交際はしねつだらしねでもいいや、本氣になつて稼ぐだから」

「でも三ちやん、一圖にそう思ひ込んで、ちつたあ母樣や、はたの者達のことも思つてくれなくちやなあおわたしだつて辛いからよ、誰にそんな事吹つ込まれたか知らねけど、何しても事だ」

たみはひどく落膽したやうに聲を落して、昂奮してゐる弟の顏を怨み訴へるやうな疲れた眼で見上げた。陽の色はもう庭の何處にも見へなかつた。たみは晚飯の仕度に遲れてゐることを思つて、暗い土間に入つたが體がふらふらして何にも掴りどころのない賴り無さが、重い氣持を衝いて襲つて來た。いつものやうな激烈な惡阻に引き續いて、次々と思ひがけない病ひに襲はれ乍らも、むごい勞働に休息の暇もないたみの窶れ切つた姿を見兼ねて、三吉は物も云はずに土間へ這入つていつたたみの後を追つた。そして、手桶に水を汲んでやつたり、風呂も焚きつけてやつたりして歸つていつた。

いくら嫁の來手がないと云つても、二十八の年まで眞面目に働いて來て、小姑もなし、溫和しい母親とたつた二人切りの暮しだもの、どんな嫁だつてありさうなものだに——と思ふこ、たみは、三吉の云ひ分に思ふ樣けちをつけてやり度かつた。小さい時から酒呑みの父親を持つて、年中貧乏に責めつけられて育つて來た彼等姉弟の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

うちで、男一人の三吉だけは何處か特異な、變屈な性格を持つてゐたとは云へ、谷戸の部落の娘などゝ結婚するなんて、それ程極端な思想に傾いてゐやうとは、たみには夢にも思はれなかつたのだ。理屈は理屈として何百年ともなく頑強に拒み續けて來た前の人の執拗さを押し破つて、たゞ一人の三吉が勇ましくそれに乘り出さうとしてゐるその勇氣を、たみは頼もしく思はないでもなかつたが、その事の爲には、どの位村の者や身内の者を騷がせる事かと思つただけでも、たみは何ともつかず腹が立ち、體中が震へた。

二

雨氣を含んだ風が朝から窪地に澱んで、たみの體には餘計障つた。兩方の足に指を押しつけると、ぼこつと窪んだ肉は容易に彈ね上つて來なかつた。

生み月まで持ち續けること出が來るかどうか、たみには自分で自分の體に跳い不安を感じ、一ときも落ちついた氣になれなかつた。田圃へ出ていつた姑や良人の後をうけて、麥こき、捧打ちは、たみ一人に餘る仕事だつた兩足を交互に踏ん張つてする麥こきはまだ堪へられたが、捧打ちの辛さはたみの全身に冷い膏の汗を流させた。激動に煽られて腹の中は混亂し切つた疼痛を訴へた。たみはくるり棒を握つた儘、片腹押へて照りつける地息の中に荒々しい呼吸を吐いた。

とても堪まらない――そう捥けやうとする心を取り直さうとすればする程、弟の爲に、又新たな屈辱をうけてゐる此頃を思つてつんのめりさうになる程、頭が茫として來る。

三吉が、谷戸の志野田の二番娘と、突柏子もない關係になつたといふだけで、三吉は畜生扱ひにされた。三吉の母親はもう諦めて別に不服を云はなかつたが、不服を云はなければ又、その事に、母親まで正氣の沙汰にしな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

かつたたみの姑達は、聞くに堪へない罵言を浴びせてたみを苛めた。

「俺がじやもう川井たあ交際はしねからいいか、彼奴等同志がよくつたつて、昔から……………………………………………………………………だ。俺がの恥曝しにもなるわ」

「たみやも亦、何だつていい氣になつて默つてるだ、てめぇの家の汚れ許りじやねぇつてのに」

「でも、そういふ事之からの者あ氣にかけないんで」

「ふん、それがいい恥つ搔ぎたあ知らねで、立派な嫁取りだと思つてやがる、呆れたものだ、てめえまでそんな氣なら俺がじやもうたみやにだつて用は無えよ、御免だよ」

「おつ母さんは何かつてぇと、わたしに用が無えつて云ひなさるけど、わたしだつて何も………」

「默つてな、默つてな、親に返答返へしするやうな嫁入用ねつてんだよ、てめぇのやうに性悪るの腹持つて來されたんじや俺がじや一文の德にもならねからなあ」

何か事があつたら追ひ出す算段をしてゐる姑の故意と口汚たなく罵り續ける、見へ透いたその心持を、たみはもう素直に受け棄ねた。

さんざんに、骨身を削り取られるやうな激しい體の使驅も、百姓の嫁となれば一通りは踏んでゆく道程だつたが、たみの神經もいつまでそう從順に鈍つてはゐなかつた。自身の爲に爭へるだけは爭つても見る氣が反抗と變つていつた。頭の働きの鈍い愚闇な良人も、死んだ親父からの借金を背負つて恐らく一生涯背負つてゆきさうな氣の毒な人間だと思へば、それさへ庇ふ心で我慢し拔いて來たのだが、たみの方の落度によつて出てゆくことを望んでゐる姑達の前に三吉の嫁とり事は申分ないものだつた。腹の中ではその事を喜び切つてゐながら、口先きで

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は罵り喚めき、毒づくだけ毒づかれた揚句に、居堪らなくなつて逃げ出してゆくたみを待つてゐるのだ。そうすればこちらの云ひ分は強く、たみの涙金は出さずに濟む、こいふ事まで、たみにはよく解つてゐた。解つてゐればゐる程彼等にこびりついてゐて、此の衰つた身體の處置をつけ度い氣もしたが、たみの心も體も到底もうその事には忍び切れないものがあつた。

がくり、がくりと、ひよつと氣を許したらすぐにも打ちのめりさうな足を引きづつて爪先き上りに裏の竹山から上の原へと登つて十町程人家もない畑の路をたみはぼんやり歩るいていつた。みすみす姑の思惑通りに利用されてゆく事は腹立たしく口惜しいものだつたが、三吉の嫁とりの日が近づけば近づく程たみの立場が押し詰められて來るので、彼女は苦るし紛れに知らず知らず家を拔け出したと云つてもいいのだつた。三吉の事がなくとも今までに幾度慿うして此の原まで昂ぶつた心を走らせて來たか知れないのだが、今日からそんな昂ぶつた心もなく永久にあの家へは歸らない意志もなくふらふらと出て來たと云つてもいい。青草の匂ひが體一杯に漂ふて來る夕方の風は入梅時のしめつぽさを含んで、空はどす黑い雲に被はれてゐた。夕燒の色もない西の空と、青い畑とかつきりと區切られた果てへと、たみはぽつりぽつり歩みを拾つた。

十八の年から苦勞し續けて、もうたみも三十の女盛りだといふのに、一人の子供も完全に生み得ないで報いられたものは此の肉體許りだと思ふと、たみはもう何も考へずに休息し度かつた。此の野原の眞中に身を倒して新らしいのびのびとした息もつき度かつた。

一里に餘る隣村の川井の實家に、薄闇の頃たどり着いたたみの氣持は、たゞ漠然とした不滿やら哀感やらで口に强く表はし得ないものだつたが、それでも、母親や三吉の顏を見ると、唇が慄へて物が云へなかつた。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

何から先きに訴へていいか解らない複雜な感情許りが込み上げて來て、默つて上り端の小緣に腰を落した。そのたみの眼色を見てとつた三吉の顔はさつと曇つたが、彼は決然としてたみを心から劬はる氣持で迎へ入れた。

「姉や獨りで來たのか、こんな遲く」

「あ、獨りでよ、息が切れて困つたわ」

「その筈だ、そんな體で出すものも出すもんだ」

「だつてあの家の人達の知つたこつちやないもの、わたしの勝手だもの」

「そいじや、姉や、默つて出て來ちやつたのか、それ、俺の爲にか、え姉や、眞實の事云つて呉んなよ」

「どうだつていいじやねの、始めつから三ちやん、わたしの事なか思つてやしないんだろ」

「どうなつてもいいつてことあるか、俺のした事が姉やの方にまで飛ばちりいつたことあ濟まねけど、姉やだつて考へ直して見て呉れたらいいや、俺等な今度あ谷戸の部落の人間になれつて、靑年會の奴まで馬鹿にしやがるけど、俺なれつてならならあ、だけど、世間つて廣いだもの、そう物の解らね人達許りじやねえ。俺等の之からのやり方一つでぼつぼつ村の者にだつて知れて來るわ、知れずにゐるものか」

「それにしたつて長い間の事だあな」

たみはその長い間のお互の苦惱を三吉の上にかけ乍ら、深く沈んでゆくやうな溜息をした。

「そいで、たみやはどうしたのよ」

氣のいい母親は二人の話の途切れをめがけて、おどおどと、おばこの髪の後れ毛の振りかゝつたたみの横顔を見守つた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

『職業婦人の家』建設に就いて

「職業婦人の家」の建設計畫を發表しましてから、ちようど滿一年がすぎました。ずつと、新しい婦人團體（婦人消費組合協會、職業婦人協會）を作るための準備にすつかりおはれてしまひまして、この方の計畫を進める餘裕とてはない次第でありました。

しかし、社會的な必要性はます〳〵ひどくなるばかりで、私自身も何ものかの力にせき立てられるやうな焦燥と共に早く拵へ上げてしまいたい氣持で一杯となつてゐます。新しく出來た團體は二つともにほんとに熱心な、力强い共鳴者を大分もつてゐますので仕事はきつと甘くはかどつてゆく事と信じられます。この上は私自身がこの計畫のためにうんと集注して行きたいと決心してゐます。

用途については、いろいろ豫定もありますが、出來もせぬ内に喋々するのは例に依つてやめる事にします。どうぞこの新しい計畫が一日も早く完成するやうに、御力添へして下さいお願ひいたします。

建設の趣意

職業婦人社は大正十一年秋創立準備にとりかゝつて以來ずつと、當面の職業婦人問題一般婦人問題のために働いて來ました。今や職業を求める婦人の數は益々多く、未婚といはず既婚といはず、多くの婦人が職業の問題、家庭の問題、結婚の問題等にからまる大きな混亂の渦の上に歸着するところを知らずに惱み苦しんでゐます。

而もこの狀勢に際して未だ職業婦人のために何の施設も行はれず、適當なる指導誘掖の任にあたる人も殆んどないまゝに今日に及んでゐるといふ事は心ある者の寒心に堪えないところであります。殊に現在の職業婦人（東京に於ける）の過半數は父母の膝下を離れて下宿生活にあるもの、一日の勞務を終えて歸つて來ても薄暗い五燭の電燈がほつゝりと點つてゐるばかりで其處には何の慰めもないやうな淋しく頼りない生活を續けてゐる者が非常に多い事を思ふとき、まづ心附いた者が手を着けてこれを行ふのが、當然といふよりも義務であるのではありますまいか。私たちが微力をも顧みず『職業婦人の家』の建設を思ひ立ちましたのも實にこの心からに外なりません。

「家」の内容

娯樂休憩室、圖書室、婦人講習會婦人講座用廣間、共同炊事場、共同洗濯場、簡易宿泊室、食堂、事務室、貸室

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

併設するものに婦人職業相談所　調査部

「職業婦人の家」の豫算概算　木造二階建延建坪數七〇坪、利用坪數五八坪、建設總費五〇〇〇圓、設備費二〇〇〇圓

――全額一般の寄附に依る豫定――

一、娯樂休憩のための靜かで快よい部屋と相當の設備。二圖書雜誌新聞類の閲覽室。三、婦人のための各種講習會講座研究會協議會等に使用する廣間。四、科學的に設備整ひたる共同炊事場。五、及び共同洗濯場。六、簡易宿泊に必要なる備へつけ。七、食堂。八、應接室。九、事務室及び。十、貸室用の幾室を有します。婦人職業相談所は關東大震災以來取扱つて來てゐる仕事でありますが、今度顧問辯護士に東京女子大學教授片山哲氏を煩はしました。經濟的基礎を確固にして從來よりもつゝ積極的に、類より少ない職業婦人勞働婦人のために力となり勵ましともなる樣に、又常に婦人の味方として輿論喚起破邪顯正に盡すことの必要を痛感してゐます。

簡易宿泊室は相談所に附隨するもので、失業者求職者一時の宿に困惑してゐる婦人等のために準備するものであります從來さういふ人たちのために取次いでゐました圖書パンフレット等の出版物の委託販賣、飜譯、タイプライティング、原稿淨寫、臨時手傳、仕立物等の內職も出來るだけの範圍で取扱つてゆかねばなりません。

調査部は職業婦人（又、一般家庭婦人）の生活に關する各方面の實地調査を常に行つて相談所の仕事と相俟つて職業婦人社の活動に便する役目をします。

貸室は「職業婦人の家」維持費の一部にあてるために比較的低廉に內三十坪を賃貸しする計畫であります。然し經濟的事情の許す限り更に有用なる他の仕事のために家の全部を職業婦人社に於て使用したいと思ひます。

職業婦人社の仕事に對して常に過分の好意と勵ましとを下さつて來た左の賛助員諸氏は今度の新しい企て「職業婦人の家」の建設についても組えず精神的にも經濟的にも力を添へて下さることを承諾して下さつてゐます。

安部磯雄氏、淺利順四郎氏、麻生正藏氏、稻宮又吉氏、犬丸徹三氏、石井滿氏、小笠原譽至夫氏、恩田和子氏、片山哲氏、久布白落實氏、下田將美氏、下中彌三郎氏、鈴木秀三郎氏、角源泉氏、鈴木小松氏、添田敬一郎氏、田澤義輔氏、千葉龜雄氏、永井亨氏、野口援太郎氏、長谷川如是閑氏、平塚明子氏、星野錫氏、松田義雄氏、宮田修氏、三宅花圃氏、與謝野晶子氏、吉岡彌生氏（アイウエオ順）

昭和二年六週年記念に

職業婦人社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯室にて

うつとしいけれど、言葉はいいものだ。力が外に分散しないで、内に籠る。

五六日ぶら〳〵と体養したあと、あれもこれもと考へて來ると仕事が一杯でいらいらするやうな氣持になるが、然し、暫らく休ませて貯めこんだ力が一度に堰きを破つて、吹き出しさうな勢ひでさあ働かうと、元氣を添えてくれるのが嬉しい。

ほんとうに、さあ働かう、だ。

職業婦人社の仕事が七年目の今日、やつとはつきりした方向をとつて三つに分れた。婦人消費組合協會と、職業婦人協會と、そしてこの「婦人運動」の發行と。

私はいつも、ぼんやりと乍らもこのことについていろ〳〵と思案しつゞけて來た。

職業婦人社として、あれもこれもといろんな仕事に手をつけて力を分散することはよくないし、それよりももつと不可ない事は、私自身が、柄にもなくあれもこれもと手を出して、いろ〳〵な方面の仕事を喰嚙るといふ事は、非常に悪いことだと。然し、私の立場から云へば、職業婦人に關しての仕事も非常に重要なものであり、消費經濟方面に進む婦人運動も、非常に緊要であり、婦人運動として共に切實當面の運動である。而もどちらも、こんなにも切實緊要であるにも拘らず、そしてさう考へてゐる人も尠くないのにも拘らず誰一人として適當な婦人の運動が現れないまゝに徒らに日が經ち年がすぎてしまつた！

かう考へて來た私の心の中の結論が、實現して、その通りにすでにいつの間にか、三つの方向に職業婦人社の仕事が發展し分岐して來たのであるが、私は今日の、この結果を正しいと信じ、ほんとによく行つたと喜んでゐる。

それは、職業人社が、非常に微力である上に私自身はもつと微力であるから如何に、職業婦人運動が今の社會に必要であり、起らねばならぬ運動であると云ふたとて、こんなに微力な職業婦人社を中心にして、どれだけの事が出來やうか。

それと同じい事が、消費經濟運動についてもさう云へるので、私自身がどんなにその必要を痛感した處で、この微力で、ほんとに何が出來やう、である。

殊に、職業婦人社としては、未だマイナス

□社　告□

豊橋支部がまつ先きに出來ました。

豊橋市上傳馬
鈴木茂一郎氏方
（電話豊橋二一九番）

七月中旬に私が關西にゆきます途中で、皆さんとゆつくりお目にかゝりたいと思つてゐます。時日は何れ鈴木千代子さんよりお知らせいたします。何分よろしく（奥）

支部設置についてお照會を下さつた方々に厚くお禮を申上げます。未だ一度もお目にかゝつたことのない方や一度も行つたことのない地方では、とにかく一度何とか繰合せをつけて出かけゆきますから、万事お目もじの上にさせて下さい。

支部が出來ても、誌代は、本社との直接取引きにして下さい。

「婦人運動」の購讀勸誘状や申込書が出來てゐますから、どうぞどしどしこれを使つてお加勢下さい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の仕事の婦人職業相談の事務をも取扱つてゐる事であり、更に大きなやりくり世帶の「婦人運動」の發行をもつゞけてゐる！

ほんとうに、こんなヨヒ／＼腰で何が出來やう！　である。

然し、こんなにも社會的に重要な仕事をであるのに、誰か出て初めさへしてくれたら、分相應の後押しはきつとするのに、と、さう思つてゐてもなくまつてゐたのであつたが、とう／＼我慢が出來なくなつたのである。そして、思つたことは私自身は微力であるけれど。然し、世の中には澤山に有能な婦人の方がある筈だ。そして、その人たちの力が、勿體ないほどに遊んでゐるぢやないか。殊に今までの社會的な環境が惡かつたために、折角の婦人の力も、意氣も、、熱も、充分な使ひ場がなくてみす／＼腐らせてしまつてゐるのでないだろうかと。

私は、さういふ生かす途がないために折角の力も埋れてゐた婦人たちを引張り出し誘ひ合せて、私自身は、にかわになり、飴になつて、やがて婦人の力の總和が、うまく合して生きて働けば、こんなにも大きく世をも動かしてゆけるんだ、といふ處まで、押してみたうと考へたのである。

私の念願は或程度まですでにかなつたと云つていゝ。婦人消費組合協會にしても、職業婦人協會にしても、ほんとにいゝ素材の婦人たちが、而も燃えるやうな熱を、その純眞な社會的關心に一杯孕ませて集つて來て下さつてゐる。これだけの人の力の總和だつて決して小さくはない。私はいつも、涙ぐましい感激でそれらの人たちの働き振りに頭を下げてゐる。今に！　今に！　と思ひながら。

然し、私は、これから、婦人界が自分自身さへ知らずに澤山持つてゐるいろ／＼な人のすぐれた力を社會的に生かすために、未開拓の處女地から婦人たちをどし／＼誘ひ出して來てこれらの有益な仕事の上に集めてゆきたいうと思つてゐる。そのための鍬をコツ／＼と入れてゆかうと思つてゐる。

さうして、職業婦人社としては、この「婦人運動」をよくしてゆくことと、「職業婦人の家」を一日も早く完成させることが私たちに殘された仕事だから、力をこれに集注してやり遂げませう、と勵まし合つてゐる所であります。（むめお）

◇誌代はすべて前納にして下さい。

前納誌代

壹部	貳拾五錢
	（郵税一錢）
半年部	壹圓四十錢
壹年分	貳圓八十錢

送金法

送金は振替が一番便利です。
誌代の受取證は別に出しません。
雜誌發送を以てこれに代へます。

昭和三年七月七日納本
昭和三年七月十日發行

發行編輯兼印刷者　東京市外中野町圍三二四四　奥　梅　尾
印刷所　東京市區小石川區久堅町八九　共　働　印　刷　所
發行所　東京牛込區市ヶ谷本村町四　職　業　婦　人　社
振替東京六四一六〇番

●●●●●●●●●●●
バートランド・ラッセル氏曰く　私は此の素晴しく大膽な本を讀んで深い感銘を受けた。玆に初めて婦人に關する眞實が語られたのだ。頗る意義ある作品である。



●●●●●●●
ロマン・ローラン氏曰く　それは大天才の創作だ。力ある作品だ。

●●●●●●●●
ヴィクター・マリゲリット氏曰く　此の美しい本は偉大な個性を否認する事の出來ない保證だ。

婦人評論家として知られた山田わか子女史が佛蘭西の閨秀作家であり兼ねて共産黨員として活躍してゐるマグダレン・マルクス女史の創作を譯されたものである。單に一人の男性を對象とせず萬人の男性を愛する事が新時代の戀愛だと喝破し女性として或は母性として一々鋭い內省のメスを振ひ女の赤裸々な魂の正體を最も大膽に描寫し歐洲の讀書界を震駭せしめ本國の佛蘭西では羽が生えて飛ぶ樣に賣れ到る處で盛大な講演會が開かれ凡ゆる著名な哲學者、批評家、小說家から熱狂的賞讚の聲を浴せられ今や爭ふて各國語に飜譯されつつある世界的空前の名著である。新時代の婦人を語る者は先づ本書を繙け。

四六判　四〇〇頁

定價　一圓八〇錢

送料（書留）一八錢

東京麴町
下六番町

平凡社

電話九段　一六六四番
　　　　　三六四七番
　　　　　三四七五番
振替東京二九六三九番

尾崎行雄先生序

新使命主筆　高野淸八郎著

無產階級の新政策

痛切なる吾等の要求を滿たす空前の大快著

次の內容を見よ

◇悲慘なる生活難と亡國を救ふ政策
◇富豪を保護し貧民虐めの我財政
◇實際は貧民の納める我國の直接稅
◇何億の大會社も廿萬圓は納稅せぬ
◇奇怪なる貧民と富豪の納稅額
◇國民の階級別と財產所有の割合
◇富豪財閥が國家から取り返す金額
◇貧民の膏血を較つて富豪に補助
◇國民生活を安定せしむる根本策
◇無產者の强唱すべき消費稅全廢
◇日常必需品を暴騰せしめる關稅
◇關稅は全く財閥に暴利獲得策
◇勞働者の爲めに朝飯無稅政策を
◇財閥保護の爲めに衰滅する我國運
◇國家の金を情實の爲めに濫費してゐる事實
◇二重の不利を防ぎ官營斷行の必要
◇財政改革の根本原則
◇課稅の新學理
◇貧民と富豪の納稅割合の學理
◇英國の廿分の一しか納稅せぬ
◇日英兩國の所得稅額
◇アイドルクラス（遊食階級）打破政策
◇日英兩國の相續稅比較
◇財政大整理の必要
◇國費を半額に減じた米國
◇英國財政の大整理
◇非常なる英斷を行ふ英國と我國政
◇國費を半減し社會政策を行ふ
◇財政を半減したムッソリーニ氏
◇世界の趨勢に逆行した我國政
◇我國財政の膨脹する趨勢
◇國民負擔の激減する實況
◇國債の益々增大する趨勢
◇借金で亡滅する國を救ふ政策
◇フィリップスノーデン氏の新學說
◇悲慘なる我國民生活の現狀
◇生活難の爲めに自殺する人數
◇不良少年も貧困が原因
◇社會政策實行の急務
◇鰥寡孤兒等の救濟策
◇遊食者に與ふる恩給を大整理
◇十五億の新財源を得る政策
◇無產階級最大の使命

附錄
普選法全文、同選擧區費別表

◇理論闘爭に沒頭せる、現代の學者、思想家を冷罵して深刻なる『生活不安』を救ふ、實際政治上に於ける政策の最高權威

定價金五拾錢
送料金四錢

發賣
東京　東京堂、北隆館、大東館、上田屋、
大阪　盛文館

發行所
東京市麴町區內山下町一ノ一
振替東京六九〇六九番
全國立憲青年同志會內
新使命社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



大正十三年十一月二十二日 第三種郵便物認可
昭和三年七月七日印刷納本
昭和三年七月十日發行（毎月一回一日發行）

婦人運動

第六卷
第六號

（定價二十五錢）